

郡 山 女 子 大 学  
郡山女子大学短期大学部

令 和 4 年 度

# 研 究 業 績 及 び 社 会 活 動

令和4年4月 ～ 令和5年3月

研究紀要編集委員会

## 【研究業績】（著書・論文・発表）

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
【郡山女子大学】					
紺 野 信 弘	（学術論文） 1. ヘルスリテラシーの視点を活用した精神疾患患者用の栄養指導用リーフレットの評価と精神科栄養指導における電子媒体使用の可能性について （査読付）	共著	2023(令和5)年 3月	郡山女子大学紀要 第59集	精神疾患患者はより自分に合った具体的な教育用リーフレットを求め、説明が十分になされないと理解が難しい。
山 形 敏 明	（学術論文） 1. 要介護高齢者の在宅生活継続要因に関する研究(その3)－いわき市の高齢者等住宅リフォーム事業における改修実態について－  （その他） （口頭発表） 1. 福島県における雪害対策に関する基礎的研究－落雪事故発生時の気象要因について(その2)－	共著	2023年3月	郡山女子大学紀要 第59集	福島県いわき市の高齢者等住宅リフォーム事業について、その3として、追加分析した。地区毎の詳細分析を行うことから、要介護度に応じた住宅改修について検討した。
安 田 純 子	（学術論文） 1. 多様化する家庭生活に関する一考察  2. 観光学と家政学との接点－家政学からのアプローチ	共著  単著	2023年3月  2023年3月	郡山女子大学紀要 第59集  総合観光学会『総合観光研究』第21号	働く女性の現状を鑑み、仕事と生活の調和の実現に向けた課題と経済面の問題をライフステージと併せて考察した。  「観光学」と「家政学」で見出される共通項を抽出することにより、双方の学問体系に新たな視点を見出そうとした。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
熊 田 伸 子	(学術論文) 1. 要介護高齢者の在宅生活継続 要因に関する研究(その3)－いわ き市の高齢者等住宅リフォーム事 業における改修実態について－	共著	2023年3月	郡山女子大学紀要 第59集	福島県いわき市の高齢者等住宅リフォー ム事業について、その3として、追加分 析した。地区毎の詳細分析を行うことか ら、要介護度に応じた住宅改修について 検討した。
	(学会発表・ポスター) 1. 在宅生活継続一要因としての 住宅改修に関する研究 － A県B市の住宅改修助成事業を 参考として－	単著	2022年10月	日本社会福祉学会 第70回秋季大会 (2022年10月15日・16 日 於：関西福祉科学 大学)	自治体の助成事業として住宅改修に積極 的に取り組んでいるA県B市の例から、 その実態を調査・分析し、住宅環境を整 えることが在宅生活継続の一要因となっ ていることについて報告した。
小 林 徹	(著書) 1. 福祉施設実習テキストブック －子ども・利用者理解からはじめ る実践－	共著	2022年4月1日	建帛社 B5版157頁 (分担) pp12-13 pp136-145	編著：栗山宣夫・小林徹 著者：小林徹ほか13名。 全体の編集及び03「実習施設の理解につ いて」11「実習の自己評価・振り返り」 12「事後指導」の執筆を担当。
	(学術論文) 1. 障害のある子どもに向けた教 育実践のあり方	単著	2023年3月	特別支援教育実践研究 第3号	筆者の中学校における教育実践を、知的 障害児に対する教育内容、教育方法、教 育の意図の3視点で整理した。
阿 部 恵利子	(学術論文) 1. L・D・Kの空間構成と台所形式 に対する利用者の意識	単著	2022年3月	郡山女子大学紀要 第59集	L・D・K空間に求められているニーズを 調査し、快適なL・D・K空間の在り方 について考察した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他)				
	1. 木の文化を育む③⑦ 宝を守り次世代へつなぐ	単著	2022年 4 月	林業福島No.692	地域の自然を保全すると共に、観光を主軸とした持続可能で豊かな地域づくりについて紹介した。
	2. 木の文化を育む③⑧ 家を造り人を育てる	単著	2022年 5 月	林業福島No.693	国産無垢材や海泥、植物性塗料などの自然素材を用いた「家族が健康でいられる家づくり」と子どもたちを対象とした木育について解説した。
	3. 木の文化を育む③⑨ 木地師の精神を継承する	単著	2022年 6 月	林業福島No.694	森林との触れ合いをとおして自然環境の重要性学ぶ“楽しく学べる公園”について解説した。
	4. 木の文化を育む④⑩ 木と人をつなぐ	単著	2022年 7 月	林業福島No.695	“木地師の精神”を忠実に守り、自然を破壊しない木材の販売と住宅建築について解説した。
	5. 木の文化を育む④⑪ 里山の香りを届ける	単著	2022年 8 月	林業福島No.696	里山の価値を高めるための活動として南会津の森林資源を原料とした和精油の製造について解説した。
	6. 木の文化を育む④⑫ 奥会津の人と文化をつなぐ	単著	2022年 9 月	林業福島No.697	奥会津で育まれた高品質の会津桐を中心に、地元産材や木製品の良さを伝える取り組みについて解説した。
	7. 木の文化を育む④⑬ 暮らしに寄り添うモノづくり	単著	2022年10月	林業福島No.698	地元の間伐材や果樹の木など福島県産の木材を活用したモノづくりについて解説した。
	8. 木の文化を育む④⑭ 里山の暮らしを未来へつなぐ	単著	2022年11月	林業福島No.699	里山をフィールドとした「循環型有機農業」の取り組みについて解説した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	9. 木の文化を育む④⑤ 里山を活かした学びと癒し	単著	2022年12月	林業福島No.700	里山アカデミー事業と自然を活用した心身をリフレッシュするリトリートについて紹介した。
	10. 木の文化を育む④⑥ 空き家を活かした木工生活	単著	2023年 1 月	林業福島No.701	『木育』をテーマとしたワークショップや里山を活かした子どもたちの自然体験について解説した。
	11. 木の文化を育む④⑦ 郷土愛と知恵を育む ～自然×農×食育体験～	単著	2023年 2 月	林業福島No.702	地域活性化体験事業として自然環境を活用した様々な取り組みを紹介した。
	12. 木の文化を育む④⑧ 未来をつくる『山の学校』	単著	2023年 3 月	林業福島No.703	里山を活用した障がい者支援団体の取り組みを解説した。
廣 野 正 子	(学術論文)				
	1. 介護職員の良い人間関係に関連する要因の抽出－地域での安定的職業継続に向けた質的検討－ (査読付)	共著	2023年 3 月	地域福祉研究公No.11 (通算No.51)	介護職員の安定的な職業継続に向けて、離職防止に重要な影響が考えられる介護職員の良い人間関係に関連する要因を抽出することを目的に質的検討をした。 掲載頁：pp.80-88 共著者：矢野康介、遠藤伸太郎、大石和男
	2. 介護職員の定着に関する先行研究からの諸要因の考察 (査読付)	単著	2023年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	介護職員の離職や定着に影響を与える要因について、本邦における関連先行研究を概観しより詳細に分析することで、介護職員の抱える課題について明らかにした。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) 3. 介護職員の定着に関する現状 報告	共著	2022年11月	立教大学コミュニティ 福祉研究所紀要第10号	介護職員の定着や人材確保に関する政策、 および高齢者施設の近年における組み 組みの要点をまとめた。 共著者：大石和男
	(口頭発表) 1. 介護職員の良好な人間関係に 関連する要因の抽出－安定的職業 継続に向けた質的検討－	共著	2022年 11月19～20日	日本健康心理学会35回 大会（東北学院大学土 樋キャンパス）	経験豊富な介護職員を対象に、良好な人 間関係に関する要因抽出のプロセスにつ いて発表した。 共著者：矢野康介、遠藤伸太郎、大石和男
瀬 谷 真理子	(学術論文) 1. 郡山女子大学服飾資料展示の 沿革～井筒雅風と関口富左～	共著	2023年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	著者：齋藤美保子 <u>瀬谷真理子</u> 主に1章を齋藤が、2章以下を瀬谷が執 筆し、両者の見解を調整して結論に至っ た。郡山女子大学内に昭和41年から展示 されてきた時代衣装を着装させた等身大 人形35体は、関口富左の求めに応じて、 風俗史家井筒雅風が卓越した研究成果を 伝えたものであり、生活文化博物館とし ても、末永く収蔵展示するに値する貴重 なコレクションである。
長 田 城 治	(学術論文) 1. 令和4(2022)年3月16日の 福島県沖の地震災害調査速報	共著	2022年 5 月	日本建築学会東北支部、 日本建築学会東北支部 災害調査連絡会	日本建築学会東北支部の災害調査連絡会 の主導により、災害委員会と連携し調査 体制を組み、調査対象別に5つのワーキ ンググループを設けて迅速な現地調査を 実施した結果をまとめた速報冊子に寄稿 した。第5章歴史的建造物の被害を分担 執筆した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 近現代建造物緊急重点調査 (建築) 中間報告書  (口頭発表) 1. 福島県国見町の大規模石造穀 蔵と農林省米穀設計例との関係  (報告書) 1. 旧二階堂家住宅主屋・長屋門 の国登録有形文化財申請に向けた 調査報告書  2. 旧小原田宿本陣積口家住宅調 査報告書	共著   単著   単著	2023年 3 月   2022年 9 月   2023年 3 月   2023年 3 月	公益社団法人日本建築 士会連合会   日本建築学会大会学術 講演梗概集, 建築歴 史・意匠, 2022   福島市   郡山市	文化庁の国庫補助事業である建造物の全 国調査で、福島県の調査事業に関する成 果について分担執筆した。   国見町の大規模石造穀蔵の特徴と農林省 米穀設計例との関係について報告した。   福島市に所在する旧二階堂家住宅の主 屋・長屋門を国登録有形文化財に具申す るために建物実測調査し、建築的価値を 精査した。   旧小原田宿本陣の建物が解体予定である ことから、建物の特徴を記録するために 実測調査を行い、所見をまとめた。
佐 藤 久 美	(その他) 1. 米国における場面緘黙支援の 動向－Selective Mutism Association 年次大会2022参加報告－	共著	2023年 3 月	郡山女子大学教職年報	Selective Mutism Association年次大会 2022の参加報告と、その発表内容から米 国における場面緘黙支援の動向を整理し た。 共著者：佐藤久美・園山繁樹
藤 村 励 子	(著書) 1. 特別支援教育コーディネー ターの役割－事例を通して考える 本人・保護者中心の連携支援体制 の展開－	共著	2023年 1 月	ナカニシヤ出版	ある脳性麻痺児の母親へのインタビュー を通して、特別支援教育のコーディネー ターの役割について考察した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(学術論文) 1. 脳性麻痺児における発話を抑制した要因の事例検討－支援者側の要因に着目して－	共著	2022年11月	Journal of Inclusive Education	特別支援学校で発話の意図的な抑制を示した脳性麻痺児の発話抑制要因を支援者側に着目して検討した。
	2. 子どもの障害者ステレオタイプ形成に関する予備的検討－小学生への面接および質問紙調査を通して－	共著	2022年12月	東北大学大学院教育学研究科研究年報	子どもが障害者に関するステレオタイプをいつ頃形成するのかを検討するために、小学生にインタビュー調査を行った。
	(その他) (学会発表) 1. 脳性麻痺児に対するコミュニケーション支援について研究動向と課題①	共著	2022年 9 月	日本特殊教育学会 第60回大会	脳性麻痺児に対するコミュニケーション支援について系統的レビューを行った結果を学会で発表した。
高 橋 真 里	(学術論文) 1. 要介護高齢者の在宅生活継続要因に関する研究(その3)－いわき市の高齢者等住宅リフォーム事業における改修実態について－	共著	2023年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	福島県いわき市の高齢者等住宅リフォーム事業について、その3として、追加分析した。地区毎の詳細分析を行うことから、要介護度に応じた住宅改修について検討した。
	(その他) (口頭発表) 1. 福島県における雪害対策に関する基礎的研究－落雪事故発生時の気象要因について(その2)－	共著	2022年10月	雪氷研究大会 (2022・札幌) 講演要旨集	福島県内市町村の人身雪害のうち、落雪による人身事故発生時の気象要因を調査・分析した。事故発生までの7日間降雪量の分析から、波形形状の分類を行い事故発生地域との関係性の分析結果を報告した。



氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
西 山 慶 治	(その他) 1. 「免疫力を上げよう!」、風邪 予防のための新規料理レシピ開発 の試み	共著	2022年 9 月 3 日	日本調理科学会2022年 度大会 (姫路)	「体温を上げる」、「腸内環境を整える」 を中心に、新型コロナウイルス感染症を 初めとした風邪予防に有効である新規料 理レシピを開発することを試みた。
菊 池 節 子	(その他) 「学会発表」 1. 福島県郡山市における東日本 大震災後の児童生徒の経年的変化 ～体力・運動能力と肥満傾向～  2. 「免疫力を上げよう!」、風邪 予防のための新規料理レシピ開発 の試み (口頭発表)  「報告書」 2. 郡山市震災後子どものケアプ ロジェクト 郡山市子どもの心と 体の育ち見守り事業 運動や食事 についてのアンケート調査報告書 (2022年)  2. 古殿町特産物“ミニトマト”の 6次化実施報告書	共同研究  共同研究  共同研究  単著	2022年 4 月  2022年 9 月 3 日  2023年 2 月  2023年 3 月	第125回日本小児科学会 学術集会 (郡山)  日本調理科学会2022年 度大会 (姫路)  認定NPO法人 郡山ペッ プ子育てネットワーク  古殿町	東日本大震災後の郡山市の児童生徒の体 力・運動能力と肥満傾向について報告し た。  「体温を上げる」、「腸内環境を整える」 を中心に、新型コロナウイルス感染症を 初めとした風邪予防に有効である新規料 理レシピを開発することを試みた。  本報告書は2022年度実施の郡山市の子ど もたちの生活習慣等に関するアンケート 調査結果をまとめたものである。 本人担当部分：食習慣、食事の様子、経 年変化  古殿町の特産物である“ミニトマト”を用 いて行った6次化商品開発に関する結果 を報告書として提出した。
大 西 弘太郎	(その他) 1. 「免疫力を上げよう!」、風邪 予防のための新規料理レシピ開発 の試み	共著	2022年 9 月 3 日	日本調理科学会2022年 度大会 (姫路)	「体温を上げる」、「腸内環境を整える」 を中心に、新型コロナウイルス感染症を 初めとした風邪予防に有効である新規料 理レシピを開発することを試みた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
石 原 正 道	(学術論文) 1. Thermodynamics of the independent harmonic oscillators with different frequencies in the Tsallis statistics in the high physical temperature approximation	単著	2022年 3 月	The European Physical Journal B 95, 53	振動数の異なる独立した調和振動子からなる系にツァリス統計力学を適用し、高温における熱力学量を調べた。
	2. Thermodynamic quantities of independent harmonic oscillators in microcanonical and canonical ensembles in the Tsallis statistics	単著	2023年 1 月	The European Physical Journal B 96, 13	N個の調和振動子系にツァリス統計力学を適用し、アンサンブルの差異や各パラメータに対する制限を調べた。
岡 部 聡 子	(学術論文) 1. ヘルスリテラシーの視点を活用した精神疾患患者用の栄養指導用リーフレットの評価と精神科栄養指導における電子媒体使用の可能性について	共著	2023年 3 月	郡山女子大学紀要第59集	精神疾患患者を対象とした栄養教育の受けてである患者の望むリーフレットを健常者と比較検討することで特徴を述べた。かつ、栄養教育実施者である管理栄養士の電子媒体を使用したヘルスリテラシーの傾向についての現状をまとめた。
	2. 高校生対象の骨粗鬆症予防対策を目的としたカルシウム摂取を促すリーフレットの評価	共著	2023年 3 月	郡山女子大学紀要第59集	女子高校生向けの骨粗鬆症予防対策を目的としたリーフレットをヘルスリテラシーの観点から改訂し、「分かりやすさ」の評価、「表面妥当性」の評価を向上させることが出来たことを報告した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3. Empowering Children as Agents of Change to Foster Resilience in Community: Implementing “Creative Health” in Primary Schools after the Fukushima Nuclear Disaster.	共著	2022年 3 月	International journal of environmental research and public health DOI : 10.3390/ijerph19063417	参加型学校活動「クリエイティブ・ヘルス」プロジェクトを福島県で実施し、子どもたちの体験を量的・質的に評価した。BODY、FOOD、ACTの3つのワークショップで、生徒の科学的・創造的思考、チームでの作業、プレゼンテーション、意見表明を促進することを紹介した。
	(示説発表) 1. Evaluation of Pre- and Post-Nutrition Education Using a Two-Dimensional Image Mapping Method	共著	2022年 8 月19日	8th Asian Congress of Dietetics (ACD) 2022 (日本、Yokohama)	双方向性のコミュニケーションツールである二次元イメージマッピングを用いて小学5・6年生を対象とした栄養教育前後の授業の理解度を評価した。
	2. What impact do home vegetable gardens have on physical activity?	共著	2022年 9 月 5 日	24th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アメリカ合衆国、アトランタ)	鏡石町の町民健診時に食事調査と運動・活動状況調査を実施した。その中で、家庭菜園を行う町民は、身体活動量と主観的幸福感がそうでない人に比べ有意に高いことがわかった。
	3. Trends in Leaflets for Nutritional Guidance Sought by Patients with Mental Illness and E-Health Literacy of Instructors	共著	2022年 9 月 6 日	24th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アメリカ合衆国、アトランタ)	精神疾患患者を対象とした栄養教育の受けてである患者の望みリーフレットを健常者と比較検討することで特徴を述べた。かつ、栄養教育実施者である管理栄養士の電子媒体を使用したヘルスリテラシーの傾向についての現状を報告した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
亀 田 明 美	(著書) 1. 改訂・給食経営管理論実習	共著	2022年 4 月	建帛社	給食経営管理論実習「実習の展開・学校給食」の部分に執筆を担当した。 石田裕美、縄田敬子、堀端薫、高橋孝子、辻ひろみ、平澤マキ、佐々木ルリ子、 <u>亀田明美</u> 、金光秀子、寒河江豊昭
	(口頭発表) 1. デジタル化に対応した食育の推進－住民向けオンライン食育講座の試み－	共著	2022年 5 月	国際保健医療学会 東日本地方会	鏡石町との連携事業で実施したオンライン料理教室の成果と課題についてまとめた。 <u>亀田明美</u> 、善方美千子、柳沼和子、吉田朱里
影 山 志 保	(口頭発表) 1. 教育現場におけるSDGsの達成のための取り組み	共同	2022年 5 月27日～29日	日本家政学会第74回大会講演要旨集 オンライン開催（佐賀大学） p.83	震災以降、福島県では森林の活用が困難になっている。このことから、学園の私有地である総合教育園の環境調査を行い、安全性を確認し、その上で、園児を対象に探検・自然観察会を行った。これらの取り組みについて報告した。
	2. 猪苗代湖・裏磐梯および会津地域における環境DNA分析を用いたウチダザリガニ生息分布調査	共同	2022年11月19日	環境DNA学会要旨集 p.28オンライン開催	特定外来生物であるウチダザリガニ（ <i>Pacifastacus leniusculus</i> ）について、環境中に存在するDNA（環境 DNA）を検出することにより猪苗代湖・裏磐梯および会津地域における生息分布状況を明らかにすることを目的とし、調査研究を行った。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(ポスター発表) 1. 猪苗代湖と裏磐梯地域の特定 外来生物ウチダザリガニの生息域 と行動調査	共同	2022年11月13日	水環境保全フォーラム (猪苗代町体験交流館 学びいな)	裏磐梯と猪苗代湖沼地域に生息している 特定外来生物ウチダザリガニの生息域の 調査から、新たな生息域を確認した。ま た、駆除を目的として行った行動調査の 結果についても報告した。
	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共同	2022年 9 月15日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和4年度『復興知』 事業活動報告会 (link る 大熊)	葛尾村における本学の地域貢献活動の内 容及び成果について、フリーポスター セッションにて報告を行った。 (郡司尚子、金子依里香、影山志保、小 林澄枝、善方美千子、根本絢香、吉田朱 里、佐藤朱莉、大内香里、田子夏未、武 地誠一、吉田三保)
佐 藤 浩 明	(著書) 1. バレーボールにおけるサイド アウト局面、サーブレシーブに関 する研究	共同研究	2022年 4 月	中部学院大学研究紀要	バレーボールにおけるサイドアウト局面 を打開するためのコーチングに関する視 座を得ることを目的とした分析の結果、 サイドアウト局面でアウトサイドヒッ ターへセットの偏りが確認された試合で は積極的にミドルやオポジットを多用す ることの練習方法を取り入れる必要性が 浮かび上がった。
黒 澤 廣 子	(その他) 1. 示説発表 What impact do home vegetable gardens have on physical activity?	共著	2022年 9 月 5 日	24th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アメリカ合衆国、 アトランタ)	鏡石町の町民健診時に食事調査と運動・ 活動状況調査を実施した。その中で、家 庭菜園を行う町民は、身体活動量と主観 的幸福感がそうでない人に比べ有意に高 いことがわかった。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 研究会発表	単独	2022年12月17日	第34回福島県栄養士会 栄養研究発表会	「福島県内の介護保険施設における糖尿病食に関する調査」
郡 司 尚 子	(著書) 1. 食べ物と健康【総論】	共著	2022年 4 月	八千代出版	食品学総論分野の『食品表示』(p.89～100)、『食品成分表』(p.117～125)、その分野に関連する問題と解説部分(p.129、130～131)の執筆をした。 編著者：高岡素子 著者：高岡素子、下橋淳子、大久保剛、渡辺敏郎、小長井ちづる、 <u>郡司尚子</u> 、吉金優
	2. 食べ物と健康【各論】	共著	2022年 4 月	八千代出版	食品学各論分野の『穀類』(p.13～23)、『卵類』(p.96～103)、その分野に関連する問題と解説部分(p.143、147、149、152～153)の執筆をした。 編著者：下橋淳子 著者：坂本寛、 <u>郡司尚子</u> 、小長井ちづる、高岡素子、飯村裕子、下橋淳子、山崎貴子、大久保剛、渡辺敏郎
	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開発と食農教育	共同	2022年 9 月15日	福島イノベーション・コースト構想推進機構 令和4年度『復興知』 事業活動報告会 (link する 大熊)	葛尾村における本学の地域貢献活動の内容及び成果について、フリーポスターセッションにて報告を行った。(郡司尚子、金子依里香、影山志保、小林澄枝、善方美千子、根本絢香、吉田朱里、佐藤朱莉、大内香里、田子夏未、武地誠一、吉田三保)

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
長谷川 貴 弘	(学術論文) 1. 「多様化する家庭生活に関する一考察」	共著	2023年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	家庭生活の多様化の現状に目を向け、老後を中心とする経済計画に関しその問題の所在と構造について考察した。
諏 訪 雅 貴	(学術論文) 1. Skeletal muscle and abdominal circumference explain intramuscular fat, independent of exercise frequency, in middle-aged Japanese men  2. 労働活動と死亡・疾患リスク－身体活動パラドックス－  3. Associations of sedentary time, physical activity, and cardiorespiratory fitness with metabolic syndrome in Japanese industrial workers : The Toyota Motor Corporation Physical Activity and Fitness Study	共著  単著  共著	2022年 5 月  2022年 7 月  2023年 1 月	PLoS One 17(5) e0267557  地域ケアリング 24(8) 65-68  Journal of Physical Fitness and Sports Medicine 12(1) 9-16	男性勤労者の腹部CTの骨格筋面積と腹囲は、運動習慣とは独立して腹部骨格筋内脂肪面積と関連していた。  余暇活動は死亡などのリスクを低減し、労働活動はリスクを上昇させる「身体活動パラドックス」がみられる。  現業系勤労者の中高強度活動と最大酸素摂取量は、独立してメタボリックシンドローム罹患と関連していた。
伊 藤 央 奈	(著書) 1. 公衆衛生学 実験・実習  2. 公衆衛生学 健康管理概論 社会・環境と健康 2023年版	共  共	2022年 5 月  2023年 3 月	建帛社  第一出版	第 1 章 2 保健統計学 (p21~33) について執筆した。  第 3 章 (p31~46)、4 章 (p47~61)、6 章 (p85~115) について執筆した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(学術論文) 1. Effectiveness of nurse-delivered screening and brief alcohol intervention in the workplace : A randomized controlled trial at five Japan-based companies. (査読付)	共	2022年 7 月	Alcoholism, clinical and experimental research. 46(9) : 1720-1731.	看護師による15分間の簡単なアドバイスとカウンセリングは、アルコール摂取の減少に効果的であった。
	(口頭発表) 1. 暑熱環境下での屋外作業における熱中症発生リスクの事前予測因子	共	2022年 5 月	第95回産業衛生学会学術総会	暑熱環境下での屋外作業における熱中症発生リスクの事前予測因子は、作業前の塩分摂取、前日の飲酒であった。
	2. 中高生全国調査による酒類広告の曝露と月飲酒の関連	共	2023年 2 月	第33回日本疫学会学術総会	わが国の中高生における酒類広告の曝露と未成年飲酒との関連を明らかにした。未成年者の飲酒防止のための酒類広告のあり方を見直す余地があることが示唆された。
	(示説発表) 1. What impact do home vegetable garden have on health.	共	2022年 9 月	24th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アメリカ合衆国、アトランタ)	鏡石町の町民健診時に食事調査と運動・活動状況調査を実施した。その中で、家庭菜園を行う町民は、身体活動量と主観的幸福感がそうでない人に比べ有意に高いことがわかった。
	2. 消防士への健康増進活動～栄養摂取状況の把握と介入の可能性～	共	2023年 3 月	第93回日本衛生学会学術総会	消防職員は、栄養素摂取が偏っており、また、冬季により欠乏しやすいことが明らかになった。



氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
星 千 歳	(示説発表) 1. What impact do home vegetable gardens have on physical activity?	共著	2022年 9 月5日	24th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アメリカ合衆国、 アトランタ)	鏡石町の町民健診時に食事調査と運動・ 活動状況調査を実施した。その中で、家 庭菜園を行う町民は、身体活動量と主観 的幸福感がそうでない人に比べ有意に高 いことがわかった。
善 方 美千子	(示説発表) 1. Evaluation of Pre-and Post- Nutrition Education Using aTwo- Dimensional Image Mapping Method  2. What impact do home vegetable gardens have on physical activity?	共著  共著	2022年8月19日  2022年 9 月5日	8th Asian Congress of Dietetics (ACD) 2022 (日本、Yokohama)  24th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アメリカ合衆国、 アトランタ)	双方向性のコミュニケーションツールで ある二次元イメージマッピングを用いて 小学5・6年生を対象とした栄養教育前 後の授業の理解度を評価した。  鏡石町の町民健診時に食事調査と運動・ 活動状況調査を実施した。その中で、家 庭菜園を行う町民は、身体活動量と主観 的幸福感がそうでない人に比べ有意に高 いことがわかった。
	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共同	2022年 9 月15日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和4年度『復興知』 事業活動報告会 (link る 大熊)	葛尾村における本学の地域貢献活動の内 容及び成果について、フリーポスター セッションにて報告を行った。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
柳 沼 和 子	(学術論文) 1. 高校生対象の骨粗鬆症予防対策を目的としたカルシウム摂取を促すリーフレットの評価	共著	2022年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	女子高校生向けの骨粗鬆症予防対策を目的としたリーフレットをヘルスリテラシーの観点から改訂し、「分かりやすさ」の評価、「表面妥当性」の評価を向上させることが出来たことを報告した。
	(示説発表) 1. What impact do home vegetable gardens have on physical activity?	共著	2022年 9 月 5 日	24th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アメリカ合衆国、アトランタ)	鏡石町の町民健診時に食事調査と運動・活動状況調査を実施した。その中で、家庭菜園を行う町民は、身体活動量と主観的幸福感がそうでない人に比べ有意に高いことがわかった。
橋 本 杏 菜	(学術論文) 1. 高校生対象の骨粗鬆症予防対策を目的としたカルシウム摂取を促すリーフレットの評価	共著	2022年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	女子高校生向けの骨粗鬆症予防対策を目的としたリーフレットをヘルスリテラシーの観点から改訂し、「分かりやすさ」の評価、「表面妥当性」の評価を向上させることが出来たことを報告した。
	(示説発表) 1. Evaluation of Pre- and Post-Nutrition Education Using a Two-Dimensional Image Mapping Method	共著	2022年 8 月19日	8th Asian Congress of Dietetics (ACD) 2022 (日本、Yokohama)	双方向性のコミュニケーションツールである二次元イメージマッピングを用いて小学5・6年生を対象とした栄養教育前後の授業の理解度を評価した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. What impact do home vegetable gardens have on physical activity?	共著	2022年 9 月 5 日	24th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アメリカ合衆国、アトランタ)	鏡石町の町民健診時に食事調査と運動・活動状況調査を実施した。その中で、家庭菜園を行う町民は、身体活動量と主観的幸福感がそうでない人に比べ有意に高いことがわかった。
	3. Trends in Leaflets for Nutritional Guidance Sought by Patients with Mental Illness and E-Health Literacy of Instructors	共著	2022年 9 月 6 日	24th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アメリカ合衆国、アトランタ)	精神疾患患者を対象とした栄養教育の受けてである患者の望むリーフレットを健常者と比較検討することで特徴を述べた。かつ、栄養教育実施者である管理栄養士の電子媒体を使用したヘルスリテラシーの傾向についての現状を報告した。
根 本 絢 香	(示説発表)				
	1. What impact do home vegetable gardens have on physical activity?	共著	2022年 9 月 5 日	24th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アメリカ合衆国、アトランタ)	鏡石町の町民健診時に食事調査と運動・活動状況調査を実施した。その中で、家庭菜園を行う町民は、身体活動量と主観的幸福感がそうでない人に比べ有意に高いことがわかった。
	2. Trends in Leaflets for Nutritional Guidance Sought by Patients with Mental Illness and E-Health Literacy of Instructors	共著	2022年 9 月 6 日	24th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アメリカ合衆国、アトランタ)	精神疾患患者を対象とした栄養教育の受けてである患者の望むリーフレットを健常者と比較検討することで特徴を述べた。かつ、栄養教育実施者である管理栄養士の電子媒体を使用したヘルスリテラシーの傾向についての現状を報告した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共同	2022年 9 月15日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和 4 年度『復興知』 事業活動報告会 (link る 大熊)	葛尾村における本学の地域貢献活動の内 容及び成果について、フリーポスター セッションにて報告を行った。 (郡司尚子、金子依里香、影山志保、小 林澄枝、善方美千子、 <u>根本絢香</u> 、吉田朱 里、佐藤朱莉、大内香里、田子夏未、武 地誠一、吉田三保)
吉 田 朱 里	(示説発表) 1. What impact do home vegetable gardens have on physical activity?	共著	2022年 9 月 5 日	24th International Federation for Home Economics (IFHE) World Congress (アメリカ合衆国、 アトランタ)	鏡石町の町民健診時に食事調査と運動・ 活動状況調査を実施した。その中で、家 庭菜園を行う町民は、身体活動量と主観 的幸福感がそうでない人に比べ有意に高 いことがわかった。
	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共同	2022年 9 月15日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和 4 年度『復興知』 事業活動報告会 (link る 大熊)	葛尾村における本学の地域貢献活動の内 容及び成果について、フリーポスター セッションにて報告を行った。 (郡司尚子、金子依里香、影山志保、小 林澄枝、善方美千子、 <u>根本絢香</u> 、 <u>吉田朱</u> <u>里</u> 、佐藤朱莉、大内香里、田子夏未、武 地誠一、吉田三保)

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
佐 藤 朱 莉	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共同	2022年 9 月15日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和4年度『復興知』 事業活動報告会 (link る 大熊)	葛尾村における本学の地域貢献活動の内 容及び成果について、フリーポスター セッションにて報告を行った。 (郡司尚子、金子依里香、影山志保、小 林澄枝、善方美千子、根本絢香、吉田朱 里、 <u>佐藤朱莉</u> 、大内香里、田子夏未、武 地誠一、吉田三保)

#### 【郡山女子大学短期大学部】

齋 藤 美保子	(学術論文) 1. 郡山女子大学服飾資料展示の 沿革～井筒雅風と関口富左～	共著	2023年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	著者：齋藤美保子、瀬谷真理子 主に1章を齋藤が、2章以下を瀬谷が執 筆し、両者の見解を調整して結論に至っ た。郡山女子大学内に昭和41年から展示 されてきた時代衣装を着装させた等身大 人形35体は、関口富左の求めに応じて、 風俗史家井筒雅風が卓越した研究成果を 伝えたものであり、生活文化博物館とし ても、末永く収蔵展示するに値する貴重 なコレクションである。
	(その他) 解説 1. ひとこと	単著	2022年10月	第217回芸術鑑賞講座 「日本画展」配布冊子	「日本画展」を鑑賞する学生の理解が深 まるように、近世近代の日本画史を概説 し、芳中庵コレクションの意義を紹介し た。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	テキスト 1. 『開成のティアラ』	単著	2023年 3 月	郡山女子大学短期大学 部地域創成学科	2017年から、地域創成学科入学者選抜の 基礎能力調査のために書き下ろした随筆 を1冊にまとめた。2023年4月からの授 業で使用すると共に、卒業生に「地域創 成学会」をアピールする際に使用する。
水 野 時 子	(学術論文) 1. 高校生対象の骨粗鬆症予防対 策を目的としたカルシウム摂取を 促すリーフレットの評価	共著	2023年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	女子高校生向けの骨粗鬆症予防対策を目 的としたリーフレットをヘルスリテラ シーの観点から改訂し、「分かりやすさ」 の評価、「表面妥当性」の評価を向上さ せることが出来たことを報告した。
源 川 博 久	(その他) 1. 「免疫力を上げよう!」、風邪 予防のための新規料理レシピ開発 の試み	共同発表	2022年 9 月	日本調理科学会2022年 度大会、姫路	大西弘太郎、住吉美咲、横田真那、 <u>源川 博久</u> 、菊池節子、西山慶治、紺野信弘 概要：新型コロナウイルス感染症予防対 策として、免疫力を上げる主菜を中心と したレシピ作成を行い、身体への影響を 検討した。その結果、胃腸の状態につい ては有意差が認められなかったが、体温 は0.3～0.8℃の上昇が認められた。
小 林 澄 枝	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共同	2022年 9 月15日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和4年度『復興知』 事業活動報告会 (link る 大熊)	葛尾村における本学の地域貢献活動の 内容及び成果について、フリーポスター セッションにて報告を行った。 (郡司尚子、金子依里香、影山志保、 <u>小 林澄枝</u> 、善方美千子、根本絢香、吉田朱 里、佐藤朱莉、大内香里、田子夏未、武 地誠一、吉田三保)

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
金 子 依里香	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共同	2022年 9 月15日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和4年度『復興知』 事業活動報告会 (link る 大熊)	葛尾村における本学の地域貢献活動の内 容及び成果について、フリーポスター セッションにて報告を行った。 (郡司尚子、金子依里香、影山志保、小 林澄枝、善方美千子、根本絢香、吉田朱 里、佐藤朱莉、大内香里、田子夏未、武 地誠一、吉田三保)
田 子 夏 未	(その他) 1. 葛尾村における地域特産品開 発と食農教育	共同	2022年 9 月15日	福島イノベーション・ コースト構想推進機構 令和4年度『復興知』 事業活動報告会 (link る 大熊)	葛尾村における本学の地域貢献活動の内 容及び成果について、フリーポスター セッションにて報告を行った。 (郡司尚子、金子依里香、影山志保、小 林澄枝、善方美千子、根本絢香、吉田朱 里、佐藤朱莉、大内香里、田子夏未、武 地誠一、吉田三保)
一 柳 智 子	(原著論文) 1. 日山信仰における民俗芸能の 災害と伝承」	単	2023年 3 月31日 (予定)	『比較舞踊学研究』 第29号、比較舞踊学会	東日本大震災後、日山信仰に関わる地域 の三匹獅子舞を事例として、災害と伝承 の関係について考察した。
	(報告) 1. 幼児の健康を目指した表現運 動デザインの創作と実践－産学官 連携事業より－ (査読付)	共	2023年 3 月31日	郡山女子大学紀要 第59集	産官学共同事業である幼児ダンスの表現 運動デザイン構築および子どもへの指導 と再現性について報告した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
横 溝 聡 子	(学術論文) 1. 音楽の流れの中における幼児 のリズム認知とリズム表現～幼児 曲を使った実践を踏まえて～ (査読付)	共著	2023年3月	郡山女子大学紀要 第59集	基本的なリズムを用いて、リズムの知覚 と表現という音楽活動が伴奏によってど う影響されるか検証を行った。
	(報告) 1. 幼児の健康を目指した表現運 動デザインの創作と実践－産学官 連携事業より－ (査読付)	共著	2023年3月	郡山女子大学紀要 第59集	産官学共同事業である幼児ダンスの表現 運動デザイン構築および子どもへの指導 と再現性について報告した。
	(その他) (演奏) 1. フルートで奏でるバロック音 楽	共	2023年3月	東京オペラシティリサ イタルホール／東京都	ヘンデル：王宮の花火」他6曲を演奏。 チェンバロを担当。
早 川 仁	(その他) 1. 現代童画展受賞作家展	単著	2022年5月	銀座アートホール	作品題名「ウクライナの子供たち」 サイズ F-20号 素材 カンバス・油彩
	2. 第76回福島県総合美術展覧会 (洋画の部)	単著	2022年6月	とうほう・みんなの 文化センター	作品題名「去来」 サイズ F-50号 素材 カンバス・油彩
	3. 郡山開成学園美術展	単著	2022年8月	うすい百貨店ギャラリー	作品題名「氷しぶきの頃」 サイズ F-6号 素材 カンバス・油彩
	4. 県南美術展	単著	2022年9月	けんしん郡山文化セン ター	作品題名「人形の家」 サイズ F-50号 素材 カンバス・油彩



氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	5. アートでつなごう 3.11をこえて福島展	単著	2022年11月	とうほう・みんなの文化センター（福島市）	作品題名「放射能の華」 サイズ 40cm×40cm 素材 ベニヤパネル・アクリル・水彩
	6. 現代童画展	単著	2022年11月	東京都美術館	作品題名「オルガルヒの方程式」 サイズ F-50号 素材 キャンバス・油彩
山 上 裕 子	（学術論文） 1. デューイによる発生的方法に関する考察－子どもの観察に焦点を当てて－	単	2021年12月 （2022年5月に 掲載決定のため、 今年度の業績として報告）	『日本デューイ学会紀要』第62号	デューイの著作に示された子どもの事例を彼の発生的方法の試みととらえ、子どもを観察する視座として、目論見を指摘した。
	（その他） 1. 図書紹介 桂直美『芸術に根ざす授業構成論－デューイの芸術哲学に基づく理論と実践』	単	2021年12月 （2022年5月に 掲載決定のため、 今年度の業績として報告）	『日本デューイ学会紀要』第62号	該当図書の紹介をした。
宮 内 俊 一	（著書） 1. よりそい支える社会的養護Ⅰ 第2版	共著	2023年1月予定	教育出版社	「ジソウ（児童相談所）」と市町村の役割とは：児童相談所の役割 市町村の役割 児童相談所と市町村の役割について述べた。 乳児院と子どもたちの生活：乳児院の目的 対象と入所理由 施設の職員の配置 子どもの生活と支援内容について述べた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. よりそい支える社会的養護Ⅱ 第2版	共著	2023年1月予定	教育出版社	里親家庭、ファミリーホームと、関係機関との連携について：里親家庭、ファミリーホームについて概覧して、関係機関との連携について述べた。 児童相談所との連携：親子再統合に向けた児童相談所と地域との連携・協働について述べた。
	(その他) ＜新聞掲載＞ 1. 「2児死亡児相対応検証へ」	単著	2022年8月	読売新聞	車内に放置されたきょうだいが死亡した事件について、児童相談所の対応におけるコメントを掲載した。
草 野 葉 子	(その他) ＜作品発表＞ 1. 第72回モダンアート展	単	2022年4月	東京都美術館	作品：「明日へーⅡ-2022」 自然・人物・街並・文字による構成Ⅰ。
	2. 第4回郡山開成学園美術展	単	2022年8月	うすい百貨店ギャラリー	作品：「あしたに・・・」 樹木・街並・種子による構成Ⅰ。
	3. 第36回モダンアート福島支部展	単	2022年8月	郡山市民ふれあいプラザ	作品：「あした・・・2022-July」 樹木・街並・種子・人物による構成Ⅰ。
	4. アートでつなごう福島展	単	2022年11月	とうほう・みんなの文化センター	作品：「あしたに・・・Ⅱ」 樹木・街並・種子による構成Ⅱ。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
折 笠 国 康	(学術論文) 1. 保育職志望の女子大学生における本来感と自己肯定感の検討 2 －被服行動が本来感と自己肯定感に及ぼす影響－	単著	2023年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	保育職志望の女子学生の被服行動が本来感と自己肯定感それぞれに与える影響を検討すること、また、被服行動との関連を基に、概念として近似であると考えられる本来感と自己肯定感との差異について検討された。自分の身体の好きなどころを強調するような衣服着用を心がけていることが、適応的な二つの自己概念である本来感と自己肯定感それぞれに正の影響を与え、自分の身体のコンプレックスを隠せるような衣服着用を心がけることで適応的な二つの自己概念である本来感と自己肯定感それぞれに負の影響を与えるといった本研究の仮説は、部分的に支持され、本来感と自己肯定感は正の相関関係にありながら、それぞれ異なった特徴をもつ自己概念であることが確認された。
永 瀬 悦 子	(学術論文) 1. 山間豪雪地帯の出産に関わる開業助産師の活動展開過程と学習過程：福島県南会津「田島町」を事例に（査読付）	単著	2022年 6 月	日本社会教育学会誌 『社会教育学研究』 第58巻, 21-31頁	明治時代から令和時代までの山間豪雪地帯の開業助産師の助産師実践活動展開過程と学習過程を、社会との関連の中でまとめた。厳しい自然の中で、地域と共生共存を図り、母子の命を助け、子育てを支援する姿は人々から信頼・承認された。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 保育現場における乳幼児救急 蘇生法を効果的に学習するための 教育方法の探究 (査読付)	単著	2022年 9 月	日本保育保健協議会機 関誌『保育と保健』 ※日本保育保健学会誌 第28巻 第2号, 32-39頁	保育学生による乳児体型・小児体型の心 肺蘇生訓練用人形を使用した救急蘇生法 と予防講話の組み合わせ学習の実践から、 現場保育者が効果的に学習するための教 育方法を探究した。
柴 田 卓	(研究ノート) 1. 自然を活かした保育活動を促 す教材開発の試み ー地域資源の活用とSTEAM教育 に着目してー	共著	2023年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	本研究は、地域の資源や自然を活かした 保育環境を促すために2つの教材を開発 し、保育事例から教育的意義や今後の可 能性についての例証を試みた。
	2. デンマークとスウェーデンの 就学前教育における音楽活動の位 置づけ ーナショナルカリキュラム及びイ ンタビュー調査からの一考察ー	共著	2023年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	本研究は、デンマークとスウェーデンの ナショナルカリキュラムを基に、子ども の主体性を尊重することと音楽教育との 関係についての検証を試みた。
	(学会発表) 1. イギリスにおける自然を活か した保育に関する研究	単	2022年 5 月	日本保育学会 第75回大会	本研究は、イギリスの自然保育に関する 文献とオンライン調査により、ナシヨナ ルカリキュラムにおける「自然」の位置 づけと、その保育活動の在りようについ て報告した。
宇 治 和 子	(学術論文) 1. コロナ禍の学生たちはどんな 心理的ストレスを背負ったかーこ れから求められる学生相談支援と はー	単著	2023年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	コロナ禍における学生の心理的ストレス について、2021~22年度分のデータを分 析し、学生相談室が今後どのように学生 と関わっていけばいいのか、その方向性 を検討した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(著書) 1. 福祉施設実習テキストブック ー子ども・利用者理解からはじめ る実践ー	共著	2022年 4 月	(株) 建帛社	保育士養成課程における福祉施設実習の テキスト。第2部実習04の5 児童自立 支援施設について、概要と当該施設で実 習するにあたっての心得や注意すべき点 などをまとめた。
ポール・バーナミィ	(著書) 1. Development of Illustrations in Microsoft Word : Instruction and Active Learning with the Thesis Course of Early Childhood Education	Paul Edward Vonnahme	June 2022 to present	Koriyama Women's University : Volume 60	This research paper expresses the steps involved for creating art and design by utilizing Microsoft Word and the ability of students. Now students are using their provided resources, but need practical preparation to understand and put this “intellect” and “wide knowledge” to good use. I have introduced original practical activities in my class to inform students of how to gain skilled abilities for real improvement. I explain and discuss the effectiveness of my classes utilizing information by using the various resources available to us.
安 部 高太朗	(学術論文) 1. 鯨岡峻・大宮勇雄・佐伯胖に とって保育記録の〈読者〉とは誰か	共著	2023年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	鯨岡・大宮・佐伯以上三者の記録論にお いて読者である同僚保育者の位置づけを 比較・考察した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. デンマークとスウェーデンの 就学前教育における音楽活動の位 置づけ：ナショナルカリキュラム での子どもの主体性との関係性を 中心に	共著	令和5年3月	郡山女子大学紀要 第59集	デンマークとスウェーデンを対象に、子 どもの主体性を通じた音楽教育やカリ キュラムの分析・検証を行った。
深 谷 悠里絵	(学術論文) 音楽の流れの中における幼児のリ ズム認知とリズム表現～幼児曲を 使った実践を踏まえて～	共著	2023年3月	郡山女子大学紀要 第59集	基本的なリズムを用いて、リズムの知覚 と表現という音楽活動が伴奏によってど う影響されるか検証を行った。
	(研究ノート) デンマークとスウェーデンの就学 前教育における音楽活動の位置づ けーナショナルカリキュラム及び インタビュー調査からの一考察ー	共著	2023年3月	郡山女子大学紀要 第59集	デンマークとスウェーデンを対象に、子 どもの主体性を通じた音楽教育やカリ キュラムの分析・検証を行った。
	(その他) 1. 福島県合唱連盟コンクール 中学校の部	共	2022年8月	会津風雅堂	郡山市立郡山第五中学校合唱部のピアノ 伴奏 自由曲「春」 東北大会出場
	2. 福島県合唱連盟コンクール 小学校の部	共	2022年8月	会津風雅堂	郡山市立朝日が丘小学校合唱部のピアノ 伴奏 自由曲「踊るミュージアム」 全国大会出場
	3. 全日本合唱コンクール東北支 部大会	共	2022年9月	けんしん郡山文化セン ター	郡山市立郡山第五中学校合唱部のピアノ 伴奏 自由曲「春」
	4. 四季の風コンサート	共	2023年2月	郡山公会堂	ヴァイオリン、歌とのアンサンブル ピアノ担当

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	5. 開南幼稚園演奏会	共	2023年 2 月	開南幼稚園	フルート、打楽器とのアンサンブル ピアノ担当
沼 田 春 香	(学術論文) 1. web会議システムを使用した 新しい子育て支援の検討 －コロナ禍や過疎地域の親子に向 けて－	単著	2023年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	オンラインを活用した子育て支援の在り 方と親子が参加しやすい内容について、 3組9名の親子との実践を通して考察し た。
何 燕 生 (福島寅太郎)	(学術論文) 1. 在日本発見民国仏教	単	2022年 3 月20日	『近代中国仏教と全球 化（近代中国仏教とグ ローバル化）国際学術 研究 討 会 論 文 集』、 1-39頁。北京大学仏教 研究センター。	日本の仏教寺院や文庫、資料館に所蔵さ れている民国仏教関係の資料を取り上げ、 その概要を論じた。
	2. 論道元如浄修証思想之異同	単	2022年 7 月23日	『天童と東アジア世界 国際学術研究会』 219-233頁。浙江工商 大学東亜研究院。	以前発表した日本語の論文を中国語化し たもの。修証思想をめぐる道元とその師 如浄との異同について論じた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3. Chan Studies as Chinese Studies: A Study of Chinese Chan History at Kyoto University	単	2022年 7 月29日	How Zen Became Chan : Pre-modern and Modern Representations of a Transnational East Asian Buddhist Tradition UBC Department of Asian Studies ONLINE, in collaboration with Yale University International Conference. オンライン論文回覧形式。	ブリティッシュ・コロンビア大学アジア学部及びイエール大学東アジア学部が共同開催した国際学会に筆者が企画した6名の日本人研究によるパネルで参加し、発表を行った。発表言語は英語。Zoomオンライン形式。
	4. 日僧道元与『法華経』	単	2022年10月30日	『第二回国際天台学：天台と東アジア世界国際学術研究会論文集』、437-455頁。北京大学仏教研究センター、浙江工商大学東亜研究院。	道元における『法華経』の受容について、『正法眼蔵』諸巻の引用状況を通して、その特徴と思想的背景を探った。



氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	5. Linji 臨濟 (?-867), Ryōkan 良寛 (1758-1831) and Ikkyū 一休 (1394-1481) in the Chan Narratives by Yanagida Seizan	単	2022年11月26日	“Thus Have I Heard”: Patterns and Logics in Buddhist Narrative Literature p.1-23. UBC Department of Asian Studies ONLINE, in collaboration with Peking University. オ ンライン論文回覧形式。	北京大学東語系とブリティッシュ・コロ ンビア大学アジア学部が共同開催した国 際シンポジウム。京都大学人文科学研究 所前所長柳田聖山（1922-2006）におけ る臨濟・良寛・一休の研究成果を取り上 げ、その捉え方および特徴を論じた。
	6. <i>My Friend Taixu</i> -太虚と駐日 ドイツ人仏教研究者ブルーノ・ ペッツォルト及び駐日ドイツ大使 ヴィルヘルム・ハインリヒ・ゾル フとの交流	単	2022年12月25日	《武昌仏学院創立100 周年記念式典暨仏教中 国化国際学術研究会論 文集》、201-239頁。武 昌佛學院。	武昌仏学院創立100周年記念国際シンポ ジウム。民国仏教僧太虚がドイツ人研究 者Bruno Petzold (1873-1949)、初駐日ド イツ大使Wilhelm Heinrich Solf (1862- 1936) との交流について、英語文献や大 正時代の日本の新聞紙などを発掘し、こ れまで全く知られていなかった事実を明 らかにし、その文化史交流の意義を論じ た。
	7. 作為中国学的禪研究－京都大 学中国禪宗史研究管窺	単	2022年12月	『禪流河東復河西：禪 宗跨地域與跨文化傳播 的跨學科考察』407- 466頁、陳金華主編、 《華林佛學研究書系》 V。新加坡シンガポー ル：World Scholastic Publishers.2022。	京都（帝国）大学における中国禪宗史研 究について、とくに松本文三郎（1869- 1944）、入矢義高（1910-1998）、柳田聖 山（1922-2006）の三人の業績を紹介し、 「支那学」（Chinese Studies/中国学） としての特徴とその学術的位置づけを論 じた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	8. 道德教育としての「禪と武士道」という言説の生成とその背景－新渡戸稲造・井上哲次郎から鈴木大拙まで－	単	2023年 3 月	『東アジア仏教学論集』第11号、175-197頁。東洋大学東洋学術研究所発行。	以前発表した論文の書き下ろしである。書き下ろしにあたり、とくに「道德教育」としての「禪と武士道」という言説の背景を論じた。
	9. 'Chan Studies as Chinese Studies: Matsumoto Bunzaburo's Study of the History of Chinese Chan Buddhism'.	単	2023年 3 月	Studies in Chinese Religions 8.4 (2022). Taylor & Francis Group (Routledge)	前掲No.7 論文を踏まえたものである。とくに松本文三郎の業績について論じた。松本は京都帝国大学初代教授で、禪研究の開拓者だったが、これまでほとんど注目されることがなかった。本稿は100年来の禪研究の学説史における松本の禪研究の位置づけを中心に論じた。
	10. 中国学としての中国禅宗史研究－京都大学を事例として－	単	2023年 3 月	『宗教研究』第96巻別冊子第81回学術大会特集、日本宗教学会、228-229頁。	上記No.7 論文を踏まえたものである。とくに入矢義高の中国語学の視点による禪語録研究の意義を論じた。発表要旨。
	(招待講演・学会発表) 1. 在日本発見民国仏教	単	2022年 3 月20日	「近代中国仏教（1912-1949）与全球化国際学術研討会」、北京大学仏教研究センター主催。Zoom参加。	招待講演。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 文庫・档案・遊紀－日本所蔵 中国近代仏教史料総述	単	2022年 5 月 1 日	国家社会科学基金重大 攻関項目「域外蔵多語 種民国仏教文献群の発 掘、整理与研究」近代仏 教特集シリーズ講演会、 北京大学仏教研究セン ター主催。Zoom参加。	大型科研による招待講演。シリーズ講演 会の第1弾。
	3. 論道元如浄修証思想之異同	単	2022年 7 月23日	「天童与東亜世界」国 際学学術研討会、浙江 工商大学東亜研究院主 催。Zoom参加。	国際シンポジウム。発表の他に司会を担 当した。
	4. Chan Studies as Chinese Studies: A Study of Chinese Chan History at Kyoto University	単	2022年 7 月29日	How Zen Became Chan : Pre-modern and Modern Representations of a Transnational East Asian Buddhist Tradition UBC Department of Asian Studies ONLINE, in collaboration with Yale University International Conference。Zoom参 加。	6 人の日本人研究者による禪研究のパネ ルを企画し、英語で発表した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	5. 中国学としての中国禪宗史研究－京都大学を事例として－	単	2022年 9 月10日	日本宗教学会第81回学術大会、愛知学院大学、対面とオンライン。	年度学術大会。司会と発表を行った。
	6. 歴史・文献・語言－京都大学中国禪宗史研究的三個面向	単	2022年10月22日	「仏学研究的語言向度」学術研討会、上海大学哲学系主催。Zoom参加。	国際シンポジウム。中国語で発表した。
	7. 日僧道元与『法華経』	単	2022年10月30日	「第二回国際天台学会 天台と東アジア世界」、北京大学仏教研究センターと浙江工商大学東亜研究院共同主催。	国際シンポジウム。発表の他に司会を担当した。中国語で発表した。
	8. Linji 臨濟 (?-867), Ryōkan 良寛 (1758-1831) and Ikkyū 一休 (1394-1481) in the Chan Narratives by Yanagida Seisan	単	2022年11月26日	“Thus Have I Heard”: Patterns and Logics in Buddhist Narrative Literature p.1-23. UBC Department of Asian Studies ONLINE, in collaboration with Peking University.	国際シンポジウム。英語で発表した。パネル司会を担当した。
	9. 作為中國學的中國禪宗史研究－京都大學禪宗研究百年回顧及其前瞻	単	2022年12月24日	「第8回近現代漢伝仏教論壇」、台湾聖嚴基金会主催、対面とオンライン形式。	国際シンポジウム。Zoomによる参加。中国語で発表した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	10. <i>My Friend Taixu</i> -太虚と駐日 ドイツ人仏教研究者ブルーノ・ ペッツォルト及び駐日ドイツ大使 ヴィルヘルム・ハインリヒ・ゾル フとの交流	単	2022年12月25日	武昌仏学院創立100周 年記念式典暨仏教中国 化国際学術研讨会、武 昌仏学院主催。対面と オンライン形式。	国際シンポジウム。Zoomによる参加。 発表のほかに司会を担当した。
	11. 神聖悖論與宗教社会学研究在 中国	単	2022年7月8日	2022年武汉大学宗教学 博士論壇シリーズ学術 講演会、武汉大学哲学 院主催。	華東師範大学哲学系李向平教授の講演に 対するレスポンス。Zoomによる参加。
	12. 東来何意－近代日本学者对五 台山的参訪	共	2022年11月12日	「仏教典籍与芸術」シ リーズ講演会、北京大 学仏教典籍与芸術研究 センター主催。	北京大学哲学系（宗教学系）王頌教授の 講演に対するレスポンス。Zoomによる 参加。
	13. 京都大学人文科学研究所共同 研究「禅研究班」第1回研究会	共	2022年4月30日	京都大学人文科学研究 所共同研究禅研究班主 催	本人が課題責任者を務める共同研究課題 の発足式。国内外から42人の研究者の参 加による大規模な共同研究班。禅を課題 とする共同研究は40年ぶり。研究班の趣 旨、研究内容と成果の刊行企画などにつ いて説明し、メンバーによる自己紹介が 行われた。企画運営、総合司会を担当。 対面とオンラインによるハイブリット形 式。通訳は暨南大学助教授肖琨氏。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	14. 京都大学人文科学研究所共同 研究「禅研究班」第2回研究会	共	2022年6月25日	京都大学人文科学研究所共同研究禅研究班主催	午前は『弁道話』の会読を担当。午後は 四川大学教授周裕鍠氏、駒澤大学教授小 川隆氏による研究報告。通訳は新潟大学 准教授土屋太佑氏。コメンテーターは東 北大学教授齋藤智寛氏。企画運営および 総合司会を担当。対面とオンラインによる ハイブリット形式。
	15. 京都大学人文科学研究所共同 研究「禅研究班」第3回研究会	共	2022年10月1日	京都大学人文科学研究所共同研究禅研究班主催	午前は『弁道話』の会読を担当。午後は 東京大学名誉教授末木文美士氏、米国ア リゾナ大学教授呉疆氏による研究報告。 コメンテーターは早稲田大学宗教文化研 究所特任研究員和田有希子、花園大学准 教授小川龍太氏。総合司会を担当。対面 とオンラインによるハイブリット形式。
	16. 京都大学人文科学研究所共同 研究「禅研究班」第4回研究会	共	2022年12月18日	京都大学人文科学研究所共同研究禅研究班主催	午前は『弁道話』の会読を担当。午後は 関西大学教授水野智晴氏、多摩美術大学 安藤礼二氏による研究報告。コメンテー ターは東京大学名誉教授末木文美士氏、 花園大学専任講師飯島良孝氏。企画運営 と総合司会を担当。対面とオンラインによる ハイブリット形式。
	17. 京都大学人文科学研究所共同 研究「禅研究班」第5回研究会	共	2023年2月5日	京都大学人文科学研究所共同研究禅研究班主催	午前は『弁道話』の会読を担当。午後は 京都大学名誉教授氣多雅子氏、京都大学 教授出口康夫氏による研究報告。コメン テーターは関西大学名誉教授井上克人氏、 チューリッヒ大学教授ラジ・シュタイ ネック氏。企画運営および総合司会を担 当。対面とオンラインによるハイブリッ ット形式。なお、事情により、出口氏の発 表が延期。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
浅 野 章	(著書) 1. 国画13の視線展	単	2022年 5 月	ギャラリー向日葵 東京都中央区銀座	「人の心の中にある原初的なもの。そして今の自分の記録としての“風景”。」というテーマを基に油彩画で表現した作品「日曜日の家族」を含め、2点を発表。
	2. 第96回国展	単	2022年 5 月	国立新美術館 東京都港区六本木 その後、名古屋展（愛知県立美術館）、福岡展（福岡県立美術館）を巡回	同上テーマの大型作品「ある家族」（227×182cm）を発表。
	3. 第76回福島県総合美術展	単	2022年 6 月	とうほう・みんなの文化センター 福島市	同上テーマの作品「家族の肖像」を発表。
	4. 第4回郡山開成学園美術展	単	2022年 8 月	うすい百貨店ギャラリー 郡山市	同上テーマの作品「随神門」を含め、2点を発表。
	5. 第66回郡山市総合美術展	単	2022年11月	けんしん郡山文化センター 郡山市	同上テーマの作品「抱擁」を発表。
	6. アートでつなごう3.11福島展	単	2022年11月	とうほう・みんなの文化センター 福島市	同上テーマの作品「家族の構成」を発表。
齊 藤 弘 久	(著書) 1. 第60回新構造社埼玉支部展	単著	2022年 8 月	埼玉県立近代美術館	「Mu- Koku」ジクレー
	2. 第4回郡山開成学園美術展	単著	2022年 8 月	うすい百貨店ギャラリー	「San - Gai II」ジクレー
	3. 齊藤弘久個展	単著	2022年 9 月	Art For Thought ギャラリー	15点 作品展示

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 第94回新構造展	単著	2022年11月	六本木 国立新美術館	「Ahinnsaka II」ジクレー
	5. 第66回福島県水彩画展	単著	2022年12月	けんしん郡山文化センター	「Ahinnsaka III」ジクレー
	6. 埼玉県版画家協会	単著	2023年3月	ギャラリー麦	「Tai-Ku」ジクレー
桑 野 聡	(学術論文) 1. 中世ヨーロッパ貴族と死の観 念－ハインリヒ獅子公夫妻の横臥 像を例に	単	2023年3月	郡山女子大学紀要 第59集	専攻科学生の指導で取り組んだアリエスの死の研究を踏まえて、中世の死生観に関する研究を整理し、盛期中世のハインリヒ獅子公夫妻の横臥像に見るキリスト教的な死の観念と貴族の家門意識の形成、封建制の確立などとの関係を考察した。
會 田 容 弘	(学術論文) 1. 「笹山原遺跡No.16第21次発掘 調査」	館内魁生・ 工藤雄一郎 ・藤原妃敏 と共著	2022年12月	東北日本の旧石器文化 を語る会『第36回東北 日本の旧石器文化を語 る会予稿集』pp.49-58	2022年10月に行った笹山原遺跡No.16の旧石器時代及び低湿地の調査詠歌を報告した。特に動作連鎖に基づいた石器使用行動を推察した。
	2. 「笹山原遺跡における土師器 製作の動作連鎖」	片平菜々と 共著	2023年2月	福島県考古学会『福島 考古』第64号	笹山原遺跡No.16の20年間の調査成果から明らかになった土師器製作を動作連鎖の視点で、遺構・遺物を位置付ける試みを行った。
	3. 「大津絵「十三仏」の成立過 程とその機能	単著	2023年3月	郡山女子大学紀要 第59集	新発見の版画「十三仏」と大津絵「十三仏」を十三仏信仰史、仏画、仏版画、十三仏板碑の中に位置づけた。大津絵十三仏成立を板碑の模倣とし、仏版画の隆盛が大津絵十三仏の終焉と関連すると推論した。



氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他)				
	1. 考古学の研究資料収集法	単著	2023年 1 月	放送大学福島学習センター「もみじ」100 p.2	考古学の資料収集方法である発掘調査について説明した。
	2. 山形考古学会と私	単著	2022年 2 月	『山形考古』 第52号	山形考古学会設立50周年にあわせて、山形考古学会の果たした地域学会としての役割について私見を述べた。
知 野 愛	(学術論文)				
	戦後福島県の農村における生活改善普及事業草創期の一側面	単著	2023年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	戦後農村の生活改善普及事業における福島県の対応や重点活動項目の経過、生活改良普及員の思いや障壁等を考察した。
	(口頭発表)	単著	2022年 9 月	日本家政学会東北・北海道支部第65回研究発表会発表要旨集	福島県内の生活改良普及員の活動や生活改善内容を、福島県農業誌「農友」から抽出して分類し傾向を考察した。
小 松 太 志	(展覧会)				
	1. 第72回モダンアート展	単著	2022年 4 月	東京都美術館 (東京都台東区)	モダンアート協会の美術公募展。 作品名：「滔々（とうとう）」(F120号、CG・プリント)
	2. 第36回モダンアート福島支部展	単著	2022年 8 月	郡山市民ふれあいプラザ (郡山市)	モダンアート協会福島支部主催の会員による美術展。作品名：同上
	3. 第 4 回郡山開成学園美術展	単著	2022年 8 月	うすい百貨店ギャラリー	郡山開成学園主催による美術展。 作品名：「繹々（えきえき）」(S10号、CG・アルコールインク・プリント)

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 2021・2022モダンアート受賞作家展	単著	2022年 9 月	ギャラリー檜B・C (東京都中央区)	第71回モダンアート展の受賞作家による美術展。作品名：「然々（そうそう）」 (F120号、CG・アルコールインク・プリント)
	(デザイン) 葛尾村村政100周年記念事業 ロゴ・記念品のデザイン	単著	2022年12月	葛尾村	葛尾村村政100周年記念事業のロゴ及び記念品などをデザインした。
	復興の灯火プロジェクトの広報 ツール	単著	2023年 3 月	復興の灯火プロジェクト	復興の灯火プロジェクトのチラシ、ポスター等を制作した。
松 田 理 香	(作品発表・展示会等) 1. 2022現代童画会 春季展	単	2022年 4 月	銀座アートホール	主催：現代童画会 作品名：「結葉」(S8号) 主な画材：アクリル絵具
	2. 2022現代童画会 選抜展	単	2022年 8 月	銀座アートホール	主催：現代童画会 作品名：「清籟」(S10号) 主な画材：アクリル絵具
	3. 第48回現代童画展	単	2022年11月	東京都美術館	主催：現代童画会 作品名：「ピチカート -蒼-」(S80号) 主な画材：アクリル絵具
山 口 猛	(学術論文) 1. 「チーム発想法概論」の授業 実践における学修過程の可視化と 共有 ～マインドマップとテキストマイ ニングの使用から～	単	2023年 3 月	郡山女子大学紀要 第59集	チーム発想の学修評価にテキストマイ ニングの手法を用いた分析を行うことと、 マインドマップや授業最後に実施する ルーブリックの関連を研究することを目 指し、授業の手順や成果物、最後にテキ ストマイニングの結果について述べた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 「ICTを活用した授業実施方法」の教育実践	単	2023年 3 月	郡山女子大学教職年報 (創刊号)	本学の教職課程の開講科目「教育方法論」で実施したICT教育に関する授業内容をまとめた。
	(その他) 1. マインドマップとループブリックの組合せによる学修課程評価	単	2023年 3 月	日本教育工学会2023年 春季全国大会(第42回)	定量評価が難しい科目において、マインドマップとループブリックを組み合わせることで、学修評価を適切に行う手法の実践例を発表した。
仲 田 佐和子	(その他) 展示 1. 「郡山女子大学短期大学部地域 創成学科コラボ企画 発掘ガール」	共同	2022年 7 月 1 日 ～ 9 月 9 日	須賀川市歴史民俗資料館	展示を通して、学生の継続する学修・調査研究と地域貢献活動を紹介した。
	2. 「郡山女子大学短期大学部地域 創成学科 発掘ガール」	共同	2022年 9 月11日 ～10月 2 日	大安場史跡公園ガイダンス施設	2001年から継続実施した笹山原遺跡No16の調査記録をパネルにより紹介、展示した。
	3. 「おかえりなさい! 発掘ガール」	共同	2022年11月16日 ～2023年1月23日	郡山女子大学図書館 1 階	生活文化博物館年度計画により実施した。
黒 沼 令	(その他) 1. 第96回国展彫刻部	単	2022年 5 月	国立新美術館 東京都中央区	団体公募展。「画家-Ⅲ」(215×80×50cm 山桜) 出品。
	2. 第76回福島県総合美術展	単	2022年 6 月	とうほう・みんなの 文化センター 福島県福島市	福島県主催の公募展。「小説家」(75×30 ×40cm 櫛) 出品。
	3. 第4回郡山開成学園美術展	単	2022年 8 月	うすい百貨店ギャラリー 福島県郡山市	共同展示会。「哲学者」(70×20×30cm 櫛) 出品。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 2日展	単	2022年8月	コラッセふくしま 福島県福島市	共同展示会。「達磨」(20×10×10cm 桂) 出品。
	5. 風月の芸術祭In白河	単	2022年10月	南湖森林公園 福島県白河市	白河市で実施したアートイベント。「魄」 (290×180×120cm 山桜・樺) 出品。
	6. 第58回福島県彫刻会展	単	2022年10月	とうほう・みんなの文化 センター 福島県福島市	共同展示会。「数学者」(60×20×25cm 樺) 他2点出品。
	7. 国展秋季展	単	2022年11月	東京都美術館 東京都台東区	共同展示会。「小説家」(75×30×40cm 樺) 出品。
	8. 第75回岩手芸術祭美術展	単	2022年11月	岩手県民会館 岩手県盛岡市	岩手県主催の公募展。「哲学者」(70×20 ×30cm 樺) 出品。 彫刻部門芸術祭賞受賞。
	9. 第66回郡山市総合美術展	単	2022年11月	けんしん郡山文化セン ター 福島県郡山市	郡山市主催の公募展。審査員として「画 家-I」(75×25×30cm 樺) 出品。
	10. とりどりのアート感じる鑑賞会	単	2023年1月	コラッセふくしま 福島県福島市	障がいの有無に関わらずアートを鑑賞す ることを目的とした展示会。「うれう」 (160×50×40cm 桧・桂) 他2点出品。
	11. アートフェスタいわて2022	単	2023年2月	岩手県立美術館 岩手県盛岡市	共同展示会。「哲学者」(70×20×30cm 樺) 出品。
佐 藤 愛 未 (その他)	1. 研究報告「幕末会津藩の蝦夷 地政策について－分領地の引継ぎ と運営体制の構築を中心に－」	単	2022年8月20日	地方史研究協議会2021 年度第7回研究例会	幕府による第二次蝦夷地直轄地計画のな かで、安政6年(1859)から開始された 東北6藩への蝦夷地分割分領政策におけ る、会津藩が割り当てられた分領地の運 営(引継ぎ及び開拓)について、史料を もとに現地の運営状況の一端を探った。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 研究例会報告要旨「幕末会津藩の蝦夷地政策について」	単	2022年12月	地方史研究 第420号	地方史研究協議会2021年度第7回研究例会（2022年8月20日）の報告内容を要旨としてまとめた。
和 知 剛	(学術論文) 1. 研究ノート「図書館における来館利用の危機と著作権法」	単著	2023年3月	郡山女子大学紀要 第59集	
佐々木 達 矢	(学術論文) 1. Exploring norms indispensable for both emergence and maintenance of cooperation in indirect reciprocity (査読付)  (その他) 「学会発表」 (国際会議) 1. An integrated model of upstream and downstream Reciprocity	共著      単著	2022年9月      2022年7月	Frontiers in Physics. 10 : 1019422.      The Mathematical Models in Ecology and Evolution (MMEE) 2022 (於：レディング大学, Reading, UK)	協力の進化に不可欠な間接互惠性について、協力の出現と維持に不可欠な規範を理論的に明らかにした。本人担当部分：研究企画立案，モデル設計，論文一部執筆。共著者名：Yamamoto H, Okada I, Uchida S and <u>Sasaki T</u>      人間社会の協力の進化に不可欠な間接互惠性について、善と悪が共存する新しい安定均衡点の存在を解析的に示した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(国内会議) 2. アップストリーム型とダウン ストリーム型間接互惠性の統合モ デルのダイナミクス分析	共著	2022年12月	日本人間行動進化学会 第15回大会（於：北海 道大学札幌キャンパ ス）	間接互惠性について、進化ゲーム理論的 手法で新しい均衡点を生成するモデルを 提案し分析した。本人担当部分：全般。 共著者名：佐々木達矢，内田智士，岡田 勇，山本仁志
	3. アップストリーム型とダウン ストリーム型間接互惠性の統合モ デルのダイナミクス分析	共著	2022年1月	第29回社会情報システ ム学シンポジウム （於：チャレンジ石垣島）	間接互惠性について、進化ゲーム理論的 手法で新しい均衡点を生成するモデルを 提案し分析した。本人担当部分：全般。 共著者名：佐々木達矢，内田智士，岡田 勇，山本仁志
	4. Integrated indirect reciprocity and the evolution of cooperation	共著	2023年2月	人工生命研究会第6回 ワークショップ（於：つ くばセンタービルco-en space）	人間社会の間接互惠性について、進化 ゲーム理論的手法で新しい均衡点を生成 するモデルを提案し分析した。本人担当 部分：全般。共著者名：佐々木達矢，内 田智士，岡田勇，山本仁志
	5. An integrated model of upstream and downstream reciprocity	共著	2023年3月	ゲーム理論ワークショッ プ2023（於：一橋講堂）	間接互惠性について、進化ゲーム理論的 手法で新しい均衡点を生成するモデルを 提案し分析した。本人担当部分：全般。 共著者名：佐々木達矢，内田智士，岡田 勇，山本仁志
	6. 間接互惠性の進化における互 恵戦略とフリーライダーの安定共存	共著	2023年3月	第74回数理社会学会大会 （JAMS74）（於：筑波 大学）	間接互惠性について、進化ゲーム理論的 手法で新しい均衡点を生成するモデルを 提案し分析した。本人担当部分：全般。 共著者名：佐々木達矢，内田智士，岡田 勇，山本仁志

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
米 本 順 子	(展示会)				
	1. 第4回郡山開成学園美術展	単	2022年8月	うすい百貨店ギャラリー 福島県郡山市	共同展示。「linch time」F30号、「日向」 M3号の油彩画2点出品。
	2. 第66回郡山市総合美術展	単	2022年11月	けんしん郡山文化セン ター 福島県郡山市	郡山市民文化祭実行委員会主催の展示会。 「我が我が」F100号 油彩画出品。洋画 部門市長賞受賞。
	3. アートでつなごう福島展 3.11をこえて	単	2022年11月	とうほう・みんなの 文化センター 福島県福島市	共同展示。「朝」F50号 油彩画出品。
	4. 第6回コレカラノヒトたち展	単	2023年2月	銀座ギャラリーあづま 東京都銀座	共同展示。F30号、F4号の油彩画2点出 品。

## 【社会活動】

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
関 口 修	医療法人安積保養園 あさかホスピタル	理事 事業計画、収支予算に関する検討
	一般財団法人大学・短期大学基準協会	顧問・理事 大学・短期大学教育活動等についての総合的な評価、教育研究水準の向上、質的充実を図る
	日本私立短期大学協会	会長 私学の特質を保持しつつ、会員相互の協力により私立短期大学の自主性、公共性を高め健全な発展に寄与
	私立短期大学教育振興会	会長 短期大学の法制面での経常費補助金確保等対応
	全私学連合代表者会議	短期大学 代表 全私学の振興、諸施策等について協議
	日本私立学校振興・共済事業団運営審議会	副会長 私立学校の教育、充実、向上、その経営の安定及び福利厚生を図るため、補助金の交付、資金の貸付援助に必要な業務に資す
	日本私立大学協会 全 東北支部	評議員 理事 私立大学教育、学術研究の発展、振興に関すること
	福島第一原発事故被害のため原発被害福島県私立大学・短期大学連合会	顧問 福島県内の私立大学、私立短期大学の連携を図り、高等教育の振興に資す



氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
<b>【郡山女子大学】</b>		
山 形 敏 明	全国建築系大学教育連絡協議会	「全国建築系大学教育連絡協議会」総会において連絡代表責任者として議案について審議する。
	日本建築学会協力委員	建築学会の事業・催し物等の広報および運営・事業に対する提言提案等を行う。
	知的生産者選定支援機構評議員	知的生産者選定支援機構の適正な運営確保に協力する。
	小野町地域創生総合戦略推進会議委員 (2021年5月～2022年2月)	小野町地域創生総合戦略推進会議の委員として、「小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」について意見を提出し協議する。
	福島放送放送番組審議会委員 (2021年10月～2022年9月)	原則月1回の放送番組審議会において、福島放送作成番組の意見答申を行う。
	令和4年度福島県安全で安心な県づくり促進事業委託業務	福島県三春町における「地区防災計画」策定に係る、街歩き・防災マップ作成・ワークショップ実施に伴う企画及び実施指導を行った。三春町「地区防災計画」を執筆した。
	郡山市史編さん推進委員会・防災ワークショップ委員 (2022年10月～)	郡山市史編さん推進委員会・防災ワークショップ会議に参加し、郡山市史続編5、通史編(2024年発行)への検討を行う。
	放送大学面接授業講師	12月3日、4日 放送大学面接授業「雪と建築」を講義した。
安 田 純 子	福島県留学生交流推進会議運営委員会運営委員	留学生交流事業協力、会議等の出席(オンライン等)
	郡山市国際交流協会運営委員会委員	郡山市における国際交流事業の推進協力、会議等の出席
	福島県医療福祉関連教育施設協議会理事	事業協力、会議等の出席、ネクストホープ研修準備
	オーストラリア学会理事	オーストラリア学会の運営、日豪交流、オーストラリア大使館内豪日交流基金との連携協力
	放送大学	非常勤講師(面接授業)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
熊 田 伸 子	福島県介護サービス苦情処理委員会	委員 福島県国民健康保険団体連合会で受け付けた介護サービスの苦情・相談について、対応を審議した
	福島県介護保険審査会	委員
	郡山市地方社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会	委員（委員長） 郡山市の社会福祉に関する事項について審議した
	郡山市介護保険運営協議会	委員（副委員長） 第八次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画の進捗状況および第九次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画策定に係る各種調査について協議した。
	郡山市地域密着型サービス等運営委員会	委員 郡山市における地域密着型サービス等の整備状況、地域包括ケアシステムの構築について協議した。
	郡山市国民健康保険運営協議会	委員 郡山市の国民健康保険について協議した。
	社会福祉法人 郡山市社会福祉協議会 第5次地域福祉活動計画進行管理委員会	委員 第5次地域福祉活動計画の進行状況について審議した。
	鏡石町健康福祉センター建設事業委員会	委員 健康福祉センターにおける業務、集約される公共施設等について協議した。
	社会福祉法人くわの福祉会	監事 当法人の業務執行状況について監査を行った。
	社会福祉法人郡山福祉会	評議員

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
関 川 悦 雄	郡山市教育委員会協力委員 日本大学教育学会理事 関東教育学会理事	小・中学校使用の教科用図書の選定作業は未活動。 当学会における交友間のつながりと研究活動を推進すること。 当学会の全般にわたる運営を図ること、紀要の編集や大会校の選定・大会事業などを支援し協力すること、その他学会の発展に寄与するような活動を行うこと。
山 本 裕 詞	NPO法人 発達支援機関 リソースセンター ONE (ワン) 東北教育学会 日本学校ソーシャルワーク学会	発達障害児の自立支援を行う当該法人において、監事として、理事の業務執行状況を監査した。 理事として、会の運営に携わった。 査読委員として、学会誌編纂に係わった。
小 林 徹	(委員等) 郡山市教育支援委員会委員  三春町子ども・子育て支援会議委員 (会長)  福島県立郡山養護学校・福島県総合療育センター 肢体不自由児後援会 理事  郡山市史編さん推進委員会 「教育・文化ワークショップ」委員  特別支援教育実践研究学会 理事  日本特別ニーズ教育学会 理事	郡山市立小・中学校に就学・在学する心身に障がいをもつ児童生徒の教育的措置や適正な就学について検討した。 「三春町子ども・子育て支援事業計画」を策定する会議で学識経験者として会長を務めた。 肢体不自由児の教育や活動を支援するために組織された会に理事として委嘱された。 郡山市史の編さんのための委員会に教育関係の学識経験者として参加した。 第2期理事として留任した。任期は2025年10月まで。 第10期理事に選出された。任期は2025年の研究大会まで。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	(研修会講師等) 郡山市 令和4年度第3回幼稚園・保育所・小学校 合同研修会	2022年7月27日(水) 会場: 総合教育支援センター 講演「特別な支援を必要とする子どもとの関わりについて」
	福島県保育士等キャリアアップ研修	2022年11月11日(金) 対面開催 会場: 郡山市商工会議所 2022年12月9日(金) 2023年1月28日(土) オンライン開催 科目名「障害児保育」
	第39回(令和4年度)芳山教育研究発表会	2023年1月27日(金) 会場: 郡山市立芳山小学校 自閉症・情緒障がい学級における研究授業の指導助言
阿 部 恵利子	日本建築学会協力委員	建築学会の事業・催し物等の広報および運営・事業に対する提言提案を行った。
	福島県森林審議会委員	福島県における森林・林業の計画等について審議した。
	福島県森林林業緑化協会 月刊『林業福島』執筆	森林・林業の新しい技術や知識など広範囲にわたる情報を発信した。
	知的生産者選定支援機構評議員	知的生産者選定支援機構の適正な運営確保に協力した。
	福島県森林自己学習支援事業	「職人さんとコラボHyggeな暮らしを未来に届けるプロジェクト」として採択され、福島県の森林環境の保全と木材利用を推進する活動を通して、自然との共生と地域貢献につながる活動をした。
	ふくしまSDGs博	生活科学科におけるSDGsの取組みについてパネルを展示し紹介した。 9月24日、25日(ビッグパレットふくしま 多目的展示ホール)
	小野町まちづくりワークショップ	「まちの将来像」について、住民・地域の関わり方を話し合い、まちづくりの計画策定に向けた議論・講評を行った。 実施9月9日、9月28日、10月26日(小野町多目的研修集会施設 大ホール)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
廣 野 正 子	放送大学面接授業	講師 令和4年11月12日（土）13日（日） 会場：放送大学福島学習センター 科目名：「介護とストレス対処」
	令和4年度「福祉の将来を担う人材育成事業」 出前講座	講師 派遣先：福島県立勿来高校 テーマ：「災害と高齢者施設～そのとき、どうしたのか？東日本大震災の体験を聞こう」
	令和4年度郡山市内大学との協定の基づく連携事業	委員 郡山市教育委員会と連携し、大学生ボランティア事業の推進を行う。
	社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福祉研修事業運営委員会	委員 学識経験者として運営委員会に携わる。
	社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福島県介護研修事業検討委員会	委員長 介護研修事業状況報告に基づく、次年度の実施計画検討について議事進行と学識経験者として事業に携わる。
	社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福島県福祉人材センター運営委員会	委員 需要・供給関係者として福祉人材センターの推進に携わる。
	社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福祉・介護人材定着促進検討委員会	委員長 福祉・介護人材定着促進検討委員会において、委員長として議事進行に携わる。
	福島県福祉・介護人材育成確保対策会議	委員 福祉・介護人材不足の解消を図る施策を効果的に実施するための審議を学識経験者として携わる。
	福島県介護福祉士養成校連絡会	幹事 連絡会において司会を担い、審議事項や情報共有を円滑に進行し取りまとめた。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
瀬 谷 真理子	福島県文化振興審議会	委員 学識経験者として、福島県の文化振興を図るため設置された委員会において、本県の文化振興の在り方等について審議に携わる。(審議会 令和5年2月10日) 任期: 令和4年11月7日～令和6年11月6日
	福島県社会教育委員の会議	社会教育委員 学識経験者として、福島県における社会教育推進の在り方についての審議に携わる。(第1回会議 令和4年8月8日、第2回会議 令和5年2月17日) 任期: 令和4年6月20日～令和6年6月19日
長 田 城 治	日本建築学会 東北支部歴史・意匠部会 委員	歴史的建造物の調査、建物の保存計画や要望書の提出、各種講演活動などの運営に委員として携わった。
	日本建築学会 民家小委員会 委員	民家に関する文献やフィールド調査およびシンポジウムなどの開催による研究成果の報告などを行った。
	日本建築学会 建築歴史・意匠本委員会 情報システム対応WG 委員	日本建築学会建築歴史・意匠本委員会の専用HPの更新、迅速な情報発信などを行った。
	日本建築学会東北支部 災害調査WG(歴史的建造物) 委員	令和4年福島県沖地震による歴史的建造物の災害被害調査を担当し、福島県における調査計画の運営、調査票の分析などを行い災害調査速報をまとめた。
	日本建築学会 文化財建造物防災体制検討特別研究 委員会 福島県責任者	文化財建造物の災害時の取りまとめなどを行う福島県の責任担当者として活動した。
	日本建築学会大会 建築歴史・意匠部門 若手優秀発表審査員	2022年度日本建築学会大会における建築歴史・意匠部門の学術講演会で、若手優秀発表の審査員を担当した。
	福島市文化財保護審議会 委員	福島市文化財保護審議会の委員として、同市文化財の指定・解除等の審議および文化財的価値の精査を行った。
	国見町文化財保護審議会 委員	国見町文化財保護審議会の委員として、同町文化財の指定・解除等の審議および文化財的価値の精査を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	三春町歴史民俗資料館運営協議会 委員	三春町歴史民俗資料館運営協議会の委員として、同資料館の運営について協議し、三春町の歴史や文化の向上にむけた取り組みを提案した。
	旧広瀬座再整備指導委員会 委員	国指定重要文化財旧広瀬座の再整備事業に建築史専門の委員として関わり、保存修理工事の方針や耐震補強や活用工事について協議した。
	近現代建造物緊急重点調査（建築） 福島県統括責任者（建築学会）	第二次世界大戦終結時(1945年)から20世紀末(2000年)までに造られた優れた建築物や土木工作物（近現代建造物）の保護を目的とする近現代建造物緊急重点調査事業（建築）に福島県統括責任者として参加し、事業運営や建物の選定、実地調査、所見執筆などを行った。主催：文化庁
	熱中小学校 社会科教員	NPO法人はじまりの学校
	令和4年度福島県沖地震被害調査 調査員	公益財団法人福島県建築士会で実施する令和4年度福島県沖地震歴史的建造物被害調査の運営や統括、調査員として建物調査を行った。
	受託調査事業：令和4・5年度近現代建造物緊急重点調査（建築）1次調査リストの作成	令和4・5年度に実施する福島県の近現代建造物緊急重点調査（建築）に必要な1次調査リストの作成を実施した。委託者：（公社）日本建築士会連合会
	受託調査事業：国見町松田家住宅主屋・土蔵・門塀の国有形文化財に登録	各種調査や所見執筆を行った国見町貝田地区の松田家住宅主屋・土蔵・門塀の3件が国登録有形文化財に答申された。委託者：国見町役場企画調整課
	受託調査事業：旧小原田宿本陣積口家住宅建物調査	郡山市に所在する旧小原田宿の本陣積口家が解体されることから、旧本陣建物の実測調査を行い、各種図面と所見を作成して報告書をまとめた。
	緊急報告会：令和4（2022）年3月16日福島県沖地震災害調査報告会	日本建築学会大会で緊急報告会において、日本建築学会東北支部歴史・意匠部会の代表として「歴史的建造物の被害」と題した講演を行った。主催：日本建築学会

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	シンポジウム：国見町歴史まちづくりシンポジウム	松田家住宅（国見町）の国登録有形文化財を記念したシンポジウムに招待され、「国登録有形文化財松田家住宅について～文化財を活かした地域づくり～」と題した講演発表を学生と共に行い、文化財を活かした地域づくりに関するパネルディスカッションのコーディネーターを務めた。 主催：国見町企画情報課
	講演会：郡山市男女共同参画フェスティバル	女性の活躍を推進する小中学生向けのイベントに招待され、「BS朝日「百年名家」案内人 長田先生の初めてのケンチクガク体験」と題した講演とワークを実施し、小中学生に向けて建築を学ぶ面白さや職業観についてお話しした。
	意見交換会：ふくしま元気トーク	福島市長と市民が直接意見交換を行う「ふくしま元気トーク」に福島市文化財保護審議会委員として参加した。今回は「福島らしい文化 ふくぶんを考える～福島に生まれ育って本当によかった～」のテーマについて議論し、福島市の将来像についてお話しした。主催：福島市
	見学イベント：蛇の鼻御殿解説付特別公開	蛇の鼻御殿の解説付特別公開イベントに関する企画および解説者を担当し、お子様向けワークショップの運営も行った。主催：花と歴史の郷蛇の鼻
	番組制作協力・出演：BS朝日「百年名家」天鏡閣 #290、#291	BS朝日の番組「百年名家」で取り上げた#290「湖畔に映える皇室の美邸～福島県猪苗代町「天鏡閣」～」(6/15放送)、#291「湖水を望む明治の皇室別邸～福島県猪苗代町「天鏡閣」続編～」(6/22放送)の番組制作に協力し、案内人として出演した。
	番組制作協力・出演：BS朝日「百年名家」福島県迎賓館 #294、#295	BS朝日の番組「百年名家」で取り上げた#294「絶景の湖畔に建つ静養の館～猪苗代町「福島県迎賓館」～」(7/13放送)、#295「和風に込められた皇室の格式～猪苗代町「福島県迎賓館」居間棟編～」(7/20放送)の番組制作に協力し、案内人として出演した。



氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
Daniel Horner (ダニエル・ホーナー)	Miharu Town's Junior High School English Oratorical Committee and Contest	Chief judge of the English speech contest and committee member. My duties are to recruit new judges, preside over the speech contest, advise students on ways to become better public speakers, and advise the committee on ways to ameliorate the contest.
	Koriyama City's Junior High School English Oratorical Committee and Contest	Chief judge of the English speech contest. My duties are to preside over the speech contest, advise students on ways to become better public speakers, and advise the committee on ways to improve the contest.
	University of Wisconsin – Eau Claire (UWEC) Alumni Association	Coordination of international exchanges of information, cultural heritage, teachers, and students between Fukushima and Wisconsin State, USA.
近 内 直 美	福島県社会福祉協議会運営適正化委員会	委員 社会福祉サービスに関する苦情の解決や、福祉サービス利用援助事業の適正な運営確保に協力した。
	郡山市障害者介護給付費など支給審査会	委員 介護給付費等の支給に関して、障害支援区分の審査判定に協力した。
	福島刑務支所における「女子施設地域連携事業に係る社会福祉士受刑者相談事業」	相談員 権利擁護及び再犯防止のため、受刑者との面接や他機関との連携への助言などの支援活動を行った。
	本宮市地域連携事業	「本宮市高齢者いきいき交流事業」開催における企画、運営に当大学の学生と共に参加し、高齢者生きがい対策に協力した。
	福島県高齢者虐待対応専門職チーム	運営委員 福島県社会福祉士会と福島県弁護士会と協同し、虐待対応に関する研修の企画運営、福島県内の市町村の虐待対応ケースへの助言などの協力をした。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市第1層協議体	構成員 郡山市の地域共生社会構築に向け、地域の現状を把握し第2層協議体の構築への助言を行い、第2層協議体構築の推進に関して協力した。
	郡山市市民協働のまちづくり推進協議会	委員 「第二次郡山市協働推進基本計画」、「第二次こおりやまユニバーサルデザイン推進指針」の推進について協力した。
	特別非営利活動法人 あいえるの会	理事 障がい者福祉の向上に関する事業の運営について協力した。
	社会福祉法人 笑風会	入所判定第三者委員 特別養護老人ホームの入所判定について、公正・公平かつ適切な入所判定がなされるよう協力した。
	郡山市、郡山市成年後見支援センター	講師 「成年後見制度の理解、中核機関の役割と機能について」
佐 藤 久 美	世界音楽療法連盟（World Federation of Music Therapy）広報委員会	西太平洋地区の広報委員として、広報資料の作成や、本連盟年次報告書の編集を担当した。
藤 田 京 子	福島県喀痰吸引等基本研修会	2022年度福島県喀痰等吸引基本研修会において不特定多数を対象に講義を行った。（2022年7月8日）
	福島県喀痰吸引等研修実施委員会委員	福島県喀痰吸引等研修実施委員会の委員として基本研修実施の運営等に協力した。
	本宮市地域推進事業	本宮市高齢者いきいき交流事業開催における企画・運営に協力した。
	福島県介護福祉士養成校連絡会	連絡会における企画・運営等に協力した。
西 山 慶 治	第39回人体解剖トレーニングセミナー	名古屋大学医学部主催のセミナーで、医療系大学の解剖学教官に人体解剖学実習を指導（2022. 8.15～8.20）

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県立医科大学倫理委員会	専門部会委員として医科大学での臨床試験研究に対する倫理審査を2年間（任期は2022. 7.31まで）
	福島県立医科大学保健科学部	非常勤講師として保健科学部の学生に解剖学総論と解剖学各論の講義を2回ずつ計4回実施（2022. 6.14, 6.28, 10.11, 10.11）
	温知会看護学院看護科並びに仁愛高等学校第一専攻科と看護専攻科（会津若松市）に解剖学の講義と実習の指導	非常勤講師として看護学系の学生に解剖学の講義（11回）を行った（2022. 4.18～2022.7.11）。
菊 池 節 子	福島県中農林事務所	普及指導協力委員 福島県中農林事務所所管内の農作物等の普及について、6次化開発などを通しての検討等に携わっている。
	「郡山市子どもの心と体の発育見守り事業」 調査研究委員会	調査委員 郡山市震災後子どものケアプロジェクト主催調査研究委員会において、子どもの生活習慣の実態把握調査並びに対応策の検討に携わっている。
	放送大学面接授業	講師 2022年度第1学期・面接授業受講生を対象に、「調理学ーおいしさを求めてー」のテーマで、講義並びに実習を行った。（2022年5月21日・22日）
	ペップキッズ郡山食育イベント	講師 2～12歳の親子を対象に、子どもの健全な発育発達に必要な知識を学ぶ親子向けのワークショップとして「福島県の郷土料理を学ぼう！」の体験活動を実施した。（2022年8月21日・10月23日）
	令和4年度 いきいき健康づくりフォーラムin田村	イベント協力 福島県立医科大学健康増進センター主催 「見直そう生活習慣！始めよう健康習慣！」のテーマのもと、福島県栄養士会ブースで、健康に関する意識の啓発を行った。（2022年11月13日）
	公益社団法人郡山青年会議所主催 「魅力発見！こおりやま」	イベント協力 JA福島さくらとの包括連携で考案した本学食物栄養学科学生のお弁当を、お弁当ランド〔夢成（株）〕の協力を得て、なかまち夢通り本学ブースで販売を行った。（2022年10月16日）

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	古殿町包括連携事業	本学と古殿町との包括連携協定に基づき、町の特産品であるミニトマトの6次化商品開発に携わっている。
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	葛尾村での料理教室の開催	葛尾村で栽培した「えごま」を使用し、学生が開発したレシピを活用した料理教室を実施。また、村に伝わる伝統料理を村民から教えていただくことで学生と村民が交流する機会とした。(2023年2月)
	一般社団法人 日本家政学会東北・北海道支部	幹事として会の運営に携わっている。
	一般社団法人 日本調理科学会東北・北海道支部	地区委員として会の運営に携わっている。
石 原 正 道	郡山市個人情報保護審議会	委員 諮問に応じ、審査・答申と情報保護評価の点検を行う。個人情報保護の推進への意見を述べる。
	郡山市情報公開審査会	委員 諮問に応じ、審査・答申を行う。個人公開の促進に関する事項について意見を述べる。
	郡山地方広域消防組合個人情報保護審議会	委員 諮問された事項に関する審議を行い、個人情報保護制度に関する意見を述べる。
岡 部 聡 子	郡山市総合地方卸市場運営協議会委員	協議会委員を務めた。
	NPO法人プチママン主催講演会 講師 2022年6月14日、2023年3月14日	「子どもの食事とアレルギー～安全で安心な食事を作ろう～」と題して一般市民向けにニコニコ子ども館にて講習会を実施した。
	郡山市総合地方卸市場 市場料理教室 講師 2022年10月1日	「季節の食材のアレンジレシピ」と題して、卸市場に流通する生鮮食料品を利用した料理教室を卸市場内の調理室にて親子対象に実施した。
	JICA課題別研修 講師 2022年10月18日、19日 鹿児島医科大学	「島嶼地域における地域保健から学ぶ生活習慣病対策」のJICA研修会において海外からの研修生に対して日本の食育について講義した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	いきいき健康づくりフォーラム 栄養相談員 2022年11月13日	「いきいき健康フォーラムin田村」のイベントにおいて、栄養士会出展ブースにて栄養相談を行った。
	福島県内の小学校における食育活動 2022年6月24日、7月1日 鏡石第二小学校 2022年10月11日 醸芳小学校 2022年11月15日 栗野小学校	小学生の鉄摂取量を向上させる栄養教育活動を各小学校で実施した。
	Diponegro University guest lecture 2023年2月14-16日	インドネシアの医学生・管理栄養士の学生と教員を対象に、日本の食育についての講演とワークショップを実施した。
亀 田 明 美	郡山市中学校給食会運営委員会	委員：郡山市中学校給食会運営委員会において、給食の年間実施回数、給食費、給食用食材選定等の給食運営に関する協議を書面で行った。
	西郷村食育推進検討委員会	委員：福島県西郷村主催の食育推進事業に委員として関わった。
	国立磐梯青少年交流の家「特色あるプログラム事業」及び「実践研究事業」	委員：国立磐梯青少年交流の家が行なった「アクティブ・ジオキャンプ2022」において、食育講座の担当及び、効果測定に携わった。
	福島県学校栄養職員中堅者研修	講師：福島県教育センター主催の研修会において、学校栄養職員在職10年の方に、「学校における食育の推進」について講義を行なった。
	ふくしまっ子の健康課題に対応する食環境を考える会	講師：福島県教育委員会主催令和4年度ふくしまっ子の健康課題に対応する食環境を考える会・南会津方部会において、小・中・高・特別支援学校の教職員を対象に、学校における食育の評価と子供の食生活とQOLの関連について講演を行なった。
	健康教育に係る専門家派遣事業	講師：福島県教育委員会主催の専門家派遣事業の講師として、泉崎村立泉崎中学校において食育講演会を行った。
	令和4年度伊達地区学校給食研究会	講師：令和4年度伊達地区学校給食研究会研修会において、学校における食育の推進とその評価について講演を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	令和4年度福島県保育士等キャリアアップ研修	講師：令和4年度福島県保育士等キャリアアップ研修、食育・アレルギー対応の分野において講師を務めた。
	鏡石町食育講座	運営・講師：鏡石町において住民を対象とした食育講座の企画運営を行い、講師を務めた。
	郡山開成地区における子ども食堂運営協力	運営協力：NPO法人かぜのwa主催の子ども食堂において、昼食の提供と食育講座を行った。
影 山 志 保	森林自己学習支援事業 「郡山開成の杜復活プロジェクト」	福島県森林計画課による補助金を活用し、郡山市磐梯熱海町にある郡山女子大学総合教育園の活用のための環境調査を行っている。今年度は総合教育園で10組の親子を募集し探検・自然観察会を行った。（令和4年4月1日から現在に至る）
	水未来基金水環境保全活動事業 「猪苗代湖と鬼沼・裏磐梯湖沼地域の特定外来生物 ウチダザリガニの生息域と行動調査」	福島県水大気環境課による裏磐梯湖沼地域の研究予算を用いた。特定外来生物ウチダザリガニの駆除を目的として、猪苗代湖と裏磐梯地域に生息している特定外来生物ウチダザリガニの生息域と分布について調査を行った。（令和4年4月1日から現在に至る）
	国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク研究センター客員研究員	国内大気汚染状況について、遺伝毒性の視点からリスク評価を担当した。（令和4年4月1日から現在に至る）
	福島県公害審査会審査委員	福島県内の公害紛争処理を担当した。 （令和4年4月1日から現在に至る）
	石川義塾中学校食育講座「栄養と毒」	石川義塾中学校にて保護者を対象に食育講座を行った。 （令和4年7月13日石川義塾中学校）
	令和3年度中学生・高校生の科学・技術研究論文野 口英世賞審査会審査委員	福島県内の中学生・高校生の科学・技術研究論文の審査委員を務めた。 （令和4年10月20日福島県教育委員会）

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。 (令和4年4月1日から現在に至る)
	第19回市民フォーラム「食と健康」 講師	郡山女子大学で行われた市民フォーラムにおいて、「食・環境と放射線量」という内容で講演した。 (令和5年1月21日郡山女子大学)
	さくら湖自然環境フォーラム 「裏磐梯・猪苗代における特定外来生物ウチダザリガニの分布調査」講師	裏磐梯・猪苗代における外来生物の問題について、講演する。 (令和5年3月10日さくら湖自然観察ステーション講演予定)
佐 藤 浩 明	国民体育大会福島県少年女子バレーボール監督	福島県少年女子バレーボール監督、試合、練習等の計画をすること
黒 澤 廣 子	郡山女子大学と鏡石町との地域連携事業「食と健康に関する地域連携」	鏡石町民を対象とした「減塩ヘルシーライフ教室」の実施 第1回 6月5日(10:00~12:00) 参加者9名 ・食行動チェック ・適正体重について 第2回 7月3日(10:00~13:00) 参加者12名 ・調理実習 第3回 8月6日(10:00~12:00) 参加者13名 ・食行動チェックと味覚チェックの説明 ・みそ汁濃度あてクイズ ・加工食品の塩分量チェック ・グループワーク 等
	福島県糖尿病療養指導士会	第15回福島県糖尿病療養指導士会講習会講師(動画作成)
	田村市	令和4年10月1日(土) 午後1時30分~3時 いきいき田村元気フェスティバル2022 講師 「シニア世代こそ食べ盛り」



氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島放送取材（高血圧予防に効果的な「減塩」をテーマにした特集）	令和4年12月17日（土）午後2時30分から3時放送 （食物栄養学科4年生10名とともに出演） ・ 減塩料理の調理 ・ 学生のインタビュー ・ 減塩についてのインタビュー
	郡山市健康づくり推進懇談会	郡山市の実情や特性を活かした健康づくりに関する施策を総合的かつ効果的に推進するにあたり、専門的見地及び市民の立場から幅広く意見を求めることを目的としている。 令和4年12月23日（金） 第二次みなぎる健康生きいきこおりやま21最終評価、第三次郡山市食育推進計画最終評価、第四次郡山市食育推進計画概要案について、意見及び回答を書面にて実施した。
	白河糖尿病治療講演会 講師	令和5年2月16日（木） 「食事療法のエッセンスと高齢者糖尿病患者の新しい概念」
郡 司 尚 子	福島県農業総合センター農業短期大学校 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	非常勤講師。「食品製造」を担当した。 郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	葛尾村地域復興支援	葛尾村村内で開催されたイベントにて、葛尾村で学生が栽培したエゴマを活用した開発商品の試食アンケートを実施した。 ・ 葛尾村あぜりあ市：「チョコラスク」、「ふりかけ」（2022年6月5日）、 「ドーナツ」（2022年11月6日）。 ・ 第5回葛尾村盆踊り：「パン」、「ふりかけ」（2022年8月14日）。 ・ かつらお感謝祭：「じゅうねんあんぱん」（2022年11月3日）。



氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	「ふたば合同夏祭り」参加	「第1回ふくしま ふたば合同夏祭り」に参加し、檜葉町産甘藷や葛尾村産エゴマを活用した学生の開発商品（「さつまいもサンドクッキー」、「エゴマほろほろクッキー」）を製造、販売した（2022年8月16日）。
	「オーガニックふくしまマルシェ2022」出展	福島県主催で郡山駅前にて開催されたイベントに出展。本学の葛尾村等での地域連携活動の様子やエゴマを活用した開発商品（エゴマエッグタルト）の試食アンケートを実施した（2022年9月10日）。
	「ならSUNフェス2022」参加	「ならSUNフェス2022」に出展し、檜葉町産甘藷を活用して学生が開発した商品（「さつまりね」「チョコバー」など6品）を製造、販売した（2022年11月12日）。
	檜葉町との「甘藷」を活用した商品開発	食物栄養学科2年生、檜葉町ならびに地元飲食店（6店舗）とともに、町の特産品である甘藷を活用したレシピ開発を行った（2022年7月～2023年3月）。
	う米めんレシピ開発	健康栄養学科学生と共に、アルファ電子(株)が販売しているう米めんを活用したレシピ開発を行い、料理教室参加、レシピ集作成等を通じて、米の消費拡大の一助に携わった。
	茶葉の商品化支援	スリービーシステムズ(株)と連携し、パッケージデザイン、浸出液の成分分析、試飲アンケートなどに協力し、葛尾村産「エゴマ葉緑茶・紅茶」をはじめとする16種が商品化され、コラッセふくしま、AMEKAZE等の店舗で販売が開始された（2022年4月1日）。
	令和3年度大学連携会議	葛尾村内で活動する大学（日本大学工学部、東北大学、東京大学、立命館大学）と今年度の村内での活動内容と次年度計画案についてオンライン会議で報告し、意見交換を行った（2022年8月24日、2023年1月31日）。
	葛尾村での料理教室の開催	葛尾村で栽培した「えごま」を使用し、学生が開発したレシピを活用した料理教室を実施。また、村に伝わる伝統料理を村民から教えていただくことで学生と村民が交流する機会とした（2023年2月12日）。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
長谷川 貴 弘	郡山看護専門学校	非常勤講師：「家族社会学」を担当。
諏 訪 雅 貴	日本体力医学会	評議員
	日本体力医学会東北地方会	役員
	郡山市あさかの学園大学	講師「生涯学習講座」
	福島大学	共生システム理工学類および食農学類非常勤講師「健康運動科学実習」
	International Journal of Environmental Research and Public Health	特集“Physical Activity, Weight Loss and Primary Care”のゲストエディター 原著論文のゲストエディター 1 件、ゲストレビューアー 3 件
	Nutrients	原著論文のゲストレビューアー 1 件
	BMC Research Notes	原著論文のゲストレビューアー 1 件
伊 藤 央 奈	復興農学会	復興農学会の事務局役員として運営に携わった。
	郡山市社会教育委員会	委員として「地域学校協働活動推進事業の在り方」についての協議を行った。 任期：令和 3 年 6 月 1 日～令和 5 年 5 月 31 日
	郡山市健康づくり推進懇談会	委員として「第二次みなぎる健康生きいきこおりやま21（改訂版）」最終評価、「第三次郡山市食育推進計画」最終評価に携わった。 任期：令和 4 年 1 月 28 日～3 年間
	全国健康保険協会福島支部 健康づくり推進協議会	委員として保健事業にたいして意見を述べた。 任期：令和 4 年 5 月 23 日～令和 6 年 3 月 31 日

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山女子大学と鏡石町との地域連携事業 「食と健康に関する地域連携」	鏡石町民を対象とした減塩健康教室を実施した。 第2回2022年7月3日 調理実習 鏡石の企業の社員食堂にてヘルシーメニューの開発と提供を実施した。 2022年7月8日（金）
	公益社団法人福島県栄養士会	福島県栄養士会生涯教育研修会において講師を務めた。2022年8月20日
	ふくしまMY健康づくりフェスタinいわき	福島県保健福祉部健康づくり課主催 本学が開発したヘルシーメニューの展示と減塩のPRを実施した。令和4年11月12日
	チャレンジふくしま県民運動 大学と連携した広報・PR事業	チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。企業とコラボし、家庭向けのヘルシーメニューの開発を行った。2022年7月～2023年3月
	朝日ラバー株式会社の社員への健康増進の取り組み	社員を対象に健康増進の取り組みとして、食生活や健康に関する掲示物の作成やオンラインセミナーなどを実施した。2022年4月～2023年3月
	古河電池株式会社の社員への健康増進の取り組み	社員を対象に「健康を維持・増進するための食生活のコツ」をテーマにオンラインセミナーを実施した。2023年2月1日、3月1日
	学校法人石川義塾の学生寮の栄養管理	学校法人石川義塾の学生寮の献立を作成し、入寮する生徒に対しての栄養管理を行った。2022年4月～2023年3月
星 千 歳	郡山女子大学と鏡石町との地域連携事業 「食と健康に関する地域連携」	1, 鏡石町民を対象とした「減塩ヘルシーライフ教室」の実施 6月5日（10：00～12：00）参加者12名 ・食行動チェック・講話 8月6日（10：00～12：00）参加者18名 ・味覚チェックと塩分チェックの結果説明 ・加工食品の塩分量チェック・グループワーク 2, 地元企業の社員を対象とした健康増進事業の実施 7月8日 社員食堂においてヘルシーメニューを提供 140食

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	ふくしまMY健康づくりフェスタinいわき	福島県健康づくり推進課主催。郡山女子大学ブースとして出展。本学が開発したヘルシーメニューのパネル展示とレシピカードの配布、減塩の啓発を行った。2022年11月12日
	チャレンジふくしま県民運動 大学と連携した食の広報・PR業務	チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。福島県食育応援企業団と家庭向けヘルシーメニューを共同開発し、メニュー解説や撮影に協力して、県民運動の普及・啓発に携わった。2022年7月～2023年3月
善 方 美千子	特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会	理事：福島県における生涯スポーツの普及や、体力向上を目指す事業を推進するための理事会に出席、および学生の参画について協力。 (任期2020.7.1～2022.6.30 福島県青少年会館)
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	「ならSUNフェス2022」参加	「ならSUNフェス2022」に出展し、檜葉町産甘藷を活用して学生が開発した商品（「さつまりね」「チョコバー」など6品）を製造、販売した（2022年11月12日）。
	檜葉町との「甘藷」を活用した商品開発	食物栄養学科2年生、檜葉町ならびに地元飲食店（6店舗）とともに、町の特産品である甘藷を活用したレシピ開発を行った（2022年7月～2023年3月）。
	葛尾村での料理教室の開催	葛尾村で栽培した「えごま」を使用し、学生が開発したレシピを活用した料理教室を実施。また、村に伝わる伝統料理を村民から教えていただくことで学生と村民が交流する機会とした（2023年2月）。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
根 本 絢 香	郡山女子大学と鏡石町との地域連携事業 「食と健康に関する地域連携」	鏡石町民を対象とした減塩けんこう教室「減塩ヘルシーライフ教室～さ よなら“塩っぺい生活”～」の実施 第2回 7月3日 ・調理実習 第3回 8月6日 ・味覚チェック ・加工食品の塩分量チェック ・グループワーク 等
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発 と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラ ノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	檜葉町との「甘藷」を活用した商品開発支援	食物栄養学科2年生、檜葉町ならびに地元飲食店（6店舗）とともに、 町の特産品である甘藷を活用したレシピ開発支援を行った（2022年7月 ～2023年3月）。
吉 田 朱 里	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発 と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラ ノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	檜葉町との「甘藷」を活用した商品開発支援	食物栄養学科2年生、檜葉町ならびに地元飲食店（6店舗）とともに、 町の特産品である甘藷を活用したレシピ開発支援を行った（2022年7月 ～2023年3月）。
	公益社団法人郡山青年会議所主催 「魅力発見！こおりやま」	イベント協力 JA福島さくらとの包括連携で考案した本学食物栄養学 科学生のお弁当を、お弁当ランド〔夢成(株)〕の協力を得て、なかまち 夢通り本学ブースで販売を行った（2022年10月16日）。
	葛尾村での料理教室の開催	葛尾村で栽培した「えごま」を使用し、学生が開発したレシピを活用し た料理教室を実施。また、村に伝わる伝統料理を村民から教えていただ くことで学生と村民が交流する機会とした（2023年2月）。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
佐 藤 朱 莉	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	檜葉町との「甘藷」を活用した商品開発支援	食物栄養学科2年生、檜葉町ならびに地元飲食店（6店舗）とともに、町の特産品である甘藷を活用したレシピ開発支援を行った（2022年7月～2023年3月）。
【郡山女子大学短期大学部】		
齋 藤 美保子	福島県文化振興事業団評議委員会	事業団の運営を協議する会議（6/27）に出席すると共に、同委員会を退会し後任を佐藤愛未講師に託すにあたり、感謝状を賜った。
	福島県立美術館運営協議会	委員として美術館の運営を協議する（2月）と共に、同美術館の広報活動の学内窓口となった。
	郡山市美術品収集評価選定委員会	委員として郡山市立美術館の作品収集を協議する会議（12/14）に出席すると共に、同美術館の広報活動の学内窓口となった。
會 田 久仁子	ラジオ福島番組制作協力	月曜日朝8時20分からの放送番組「朝から全開！朝ゼミ ビジネスマン講座」の講師を務めた。令和4年5月および11月計9回分担当
	福島中央テレビ番組審議委員会	福島中央テレビ番組審議委員会に出席し、毎月提示される福島中央テレビ制作の番組について審議意見を述べている。
	福島県安全で安心な県づくりの推進会議	福島県知事より委嘱され令和4年10月から、県の安全で安心な県づくり推進および市町村県民への活動支援に対する意見助言のため「福島県安全で安心な県づくり推進会議」に出席している。
	郡山市環境審議会	郡山市長より委嘱され令和元年11月から、郡山市の環境の保全に関する基本的事項等について調査や審議を行っている。
	「第1回ふくしま・ふたば合同夏祭り」への参加	「第1回ふくしま・ふたば合同夏祭り」に出展し、屋上菜園の収穫物を使った商品の販売を行った。令和4年8月16日

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	葛尾村地域復興支援	葛尾村「あぜりあ市」および「葛尾村盆踊り」、「かつらお感謝祭」の運営に協力した。葛尾村の特産品である凍みもちを利用した商品について、来場者に試食していただいた。（あぜりあ市令和4年6月5日・11月6日、盆踊り令和4年8月14日、感謝祭令和4年11月3日）
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団主催 郡山女子大学短期大学部協力のもと本学で開催した、中高生を対象とした料理教室の運営にあたった。令和4年11月19日（土）
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事 『キャンドルナイト』への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、災害時の食事および備蓄品の利用についてパネルと試作品の展示、備蓄品を利用した焼き菓子の提案・提供を行った。令和5年3月11日（土）
水 野 時 子	公益信託 棚木宇巳子記念奨学育英基金運営委員	運営委員長として運営に携わった。
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部協力のもと本学で開催した中高生を対象とした料理教室において運営を務めた。（2022年11月19日）
	第19回（令和4年度）栄養士実力認定試験問題応募 （栄養学各論）	一般社団法人全国栄養士養成施設協会の第19回（令和4年度）栄養士実力認定試験問題募集に応じ、採用された。
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事 「キャンドルナイト」への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、災害時の食事および備蓄品の利用についてパネルと試作品の展示、備蓄品を利用した焼き菓子の提案・提供を行った。（2023年3月11日）
	本宮市健康力アップ応援事業 「食の力講座」講師	講和テーマ「健康に過ごすには、バランスの良い食事から」の講師を務めた。（本宮市 えぽか：2023年3月1日）
源 川 博 久	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	海と日本プロジェクトinふくしま実行委員会、日本さばけるプロジェクト実行委員会主催、日本財団海と日本プロジェクト共催、郡山女子大学短期大学部協力のもと、本学で開催した中高生を対象とした日本さばける塾 in ふくしまにおいて、「海についての学び」について講演し、運営も務めた。（2022年11月19日）



氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	第19回（令和4年度）栄養士実力認定試験問題採用（生化学）	一般社団法人全国栄養士養成施設協会の第19回（令和4年度）栄養士実力認定試験問題募集に応じ、採用された。
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」	県が主催する「キャンドルナイト」において、災害時の食事および備蓄品の利用についてパネルと試作品の展示、備蓄品を利用した焼き菓子の提案・提供を行った。（2023年3月11日）
小 林 澄 枝	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	葛尾村地域復興支援 あぜりあ開館4周年記念あぜりあ市	「凍みキャラメルもち」「凍み餅チーズパイなどを各100個試食として出品し、アンケート調査を実施した。2022年6月5日（日）
	かつらお盆おどり	「しみマフィン」「しみだんご」「しみおやきフルーツ」「しみせんべい」など凍み餅アレンジメニューの試食用として各100個ずつ出品し、アンケート調査を実施した。2022年8月14日（日）
	かつらお感謝祭	「しみフロランタン」「しみせんべい」の試食品を各100個ずつ製作し、アンケート調査を実施した。2022年11月3日（木）
	SDGsへの取り組み アルファ米の活用方法に関するKFB福島放送とのタイアップ	賞味期限間近の備蓄用アルファ米を利用したレシピを考案し、その中で、「二色いなり」と「ごはんピザ」の取材を受けた。 取材日：2022年8月18日（木） 放送日：福島放送（KFB） 8月31日（水）「シェア!」1部
	【第1回】ふくしま ふたば合同夏祭り	屋上菜園で摂れた野菜を利用したお菓子を販売した。「さつまいもスティックパイ」「ブルーベリーマフィン」「カップウンドケーキ」「ズッキーニフォカッチャ」など1年生のボランティア学生により約300個を販売した。 2022年8月16日（火）大槻町字漆棒48（大槻公園）



氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	藍の葉を活用した商品開発	藍の葉を活用した「チョコレート」「クッキー」「ふりかけ」「パウンドケーキ」「せんべい」などを考案し、楡葉町道の駅において6月・9月・12月・2月の4回商品の販売を行った。
	一般社団法人 福島県医療福祉関連教育施設協議会主催 ネクストホープ研修 2回開催	令和4年11月5日(土) ポラリス保健看護学院 令和4年12月3日(土) 郡山看護専門学校 テーマ「多職種連携で衛る災害時のいのちとくらし」～災害を乗り越えた私たちができること～ 2回の研修会において、避難所の運営ゲームや非常食を食べて多職種での交流を深めた。本学からは、(食物栄養学科・健康栄養学科含む) 8名の学生が参加した。研修会運営の役員を務めた。
	ラジオ放送「こでらんに文化祭」参加	各大学の食の取り組みにおいて凍み餅のアレンジメニューとして開発した「しみせんべい」と「しみフロランタン」を100個試食品として提供した。2022年11月5日(土) 福島市まちなか広場
	JA福島さくら農業協同組合主催 おむすびフェス2022 (握らない簡単おむすびの作り方について)	米の消費拡大を目的に毎年開催しているフェスティバル。コロナ感染予防策として参加申し込みのあった親子約60名を4班に分け少数人数でおむすびの作り方について講師を務めた。また、おむすびコンテストの審査員を務めた。2022年11月12日(土) 郡山総合卸売市場 管理棟2階調理室
	海と日本プロジェクト 「さばける塾inふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催、本学で開催した中高校生を対象とした料理教室において企画・運営を務めた。 2022年11月19日(土) 会場：郡山女子大学調理学実習室・ラーコモⅢ
	エスパル KFB おにぎりフェス	ふくめぐみコラボ商品、福島県有名特産物を使用した「おにぎらず」の販売。初日は140個、2日目は240個を午前中で完売した。「会津ソースかつ」「相馬しらす&会津きのこ」「県漁連さば味噌煮&大葉」「麓山高原豚ウインナー&大葉」など会津・中通り・浜通りの特産品を使用したおにぎらずの具材について監修を行った。 2022年11月26日(土)・27日(日)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県保育協議会県北支部 給食担当者研修会 「子どもの健康と食生活」原稿依頼	保育協議会県北支部給食担当者会員約60名を対象とした研修会に配布する資料の原稿を執筆した。幼児期の食事のポイント～食事と健康～味覚の発達について 2022年11月25日（金） 2023年季刊誌「つみき」第52号掲載
	福島医療学研究会 ～幸せになる糖尿病治療を目指して～ FM大阪番組制作協力	演題「クリニカルイナーシャと糖尿病医療学」パネリストとして症例の発表と解説を行った。2022年12月3日（土）ラバコふくしま5階 FMラジオ出演 当局が制作する防災啓発・復興支援番組『あのひ、そしてあした』において食の専門家として話をした。 2023年3月10日（金）8：20～11：00内放送
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事 「キャンドルナイト」への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、災害時の食事および備蓄品を利用した焼き菓子の提案・提供を行った。 2023年3月11日 駅前広場
	福島県立総合衛生学院 助産学科 福島大学 食農学類 うめつLS内科クリニック	助産学講座 「母子と栄養」の非常勤を務めた。 「調理学」の非常勤講師を務めた。 非常勤管理栄養士として糖尿病の食事療法に関する栄養カウンセラーを務めた。
	JA福島さくら農業協同組合 広報誌「さくら」1年間寄稿	「お米の魅力」をテーマに令和4年4月号から令和5年3月号までの1年間、毎月発行する広報誌に12回寄稿し執筆を行った。
金 子 依里香	郡山市消費生活審議会委員 こおりやま広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会構成員 海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	任期：令和4年11月1日～令和6年10月31日 こおりやま広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会構成員として懇談会へ参加した。（2023年1月16日） 日本財団主催、郡山女子大学短期学部協力のもと本学で開催した中高生を対象とした料理教室において運営を務めた。（2022年11月19日）

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	「第1回ふくしま・ふたば合同夏祭り」への参加	「第1回ふくしま・ふたば合同夏祭り」に出展し、屋上菜園の収穫物を使った商品の販売を行った。(2022年8月16日)
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。
	葛尾村地域復興支援	葛尾村「あぜりあ市」および「葛尾村盆踊り」、「かつらお感謝祭」の運営に協力した。葛尾村の特産品である凍みもちを利用した商品について、来場者に試食していただいた。(あぜりあ市2022年6月5日・11月6日、盆踊り2022年8月14日、感謝祭2022年11月3日)
	令和4年度大学連携会議	葛尾村内で活動する大学（日本大学工学部、東北大学、東京大学、立命館大学）と今年度の村内での活動内容と次年度計画案についてオンライン会議で報告し、意見交換を行った(2022年8月24日、2023年1月31日)。
	復興の灯火プロジェクト	東日本大震災の記憶と地域文化の継承を目的としたプロジェクトの運営を担当した。
	FM大阪番組制作協力	令和5年3月10日放送、当局が制作する防災啓発・復興支援番組「あのひ、そしてあした」で、食の専門家として震災を経験したことで分かったことや、備蓄食材を利用したレシピづくりについて話をした。
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事 「キャンドルナイト」	県が主催する『キャンドルナイト』において、災害時の食事および備蓄品の利用についてパネルと試作品の展示、備蓄品を利用した焼き菓子の提案・提供を行った。(2023年3月11日)
澤 渡 優 喜	3.11ふくしま追悼復興祈念行事 「キャンドルナイト」への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、災害時の食事および備蓄品の利用についてパネルと試作品の展示、備蓄品を利用した焼き菓子の提案・提供を行った。(2023年3月11日)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部協力のもと本学で開催した中高生を対象とした料理教室において講師を務めた。(2022年11月19日)
	第19回（令和4年度）栄養士実力認定試験問題採用	一般社団法人全国栄養士養成施設協会の第19回（令和4年度）栄養士実力認定試験問題募集に応募し、食品学各論、食品衛生学の問題が採用された。
	郡山食品工業団地協同組合	食品安全衛生講習会の講師を担当。
加 藤 雅 子	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部協力のもと本学で開催した中高生を対象とした料理教室において運営を務めた。(2022年11月19日)
	3.11ふくしま追悼復興祈念行事 「キャンドルナイト」への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、災害時の食事および備蓄品の利用についてパネルと試作品の展示、備蓄品を利用した焼き菓子の提案・提供を行った。(2023年3月11日)
	う米めんレシピ開発	健康栄養学科学生と共に、アルファ電子(株)が販売しているう米めんを活用したレシピ開発を行い、料理教室参加、レシピ集作成等を通じて、米の消費拡大の一助に携わった。
大 内 香 里	3.11ふくしま追悼復興祈念行事 「キャンドルナイト」への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、災害時の食事および備蓄品の利用についてパネルと試作品の展示、備蓄品を利用した焼き菓子の提案・提供を行った。(2023年3月11日)
	葛尾村地域復興支援	葛尾村「あぜりあ市」および「葛尾村盆踊り」、「かつらお感謝祭」の運営に協力した。葛尾村の特産品である凍みもちを利用した商品について、来場者に試食していただいた。(感謝祭2022年11月3日)
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。(2022年6月25日)
	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部協力のもと本学で開催した中高生を対象とした料理教室において運営を務めた。(2022年11月19日)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
田 子 夏 未	3.11ふくしま追悼復興祈念行事 「キャンドルナイト」への参加	県が主催する「キャンドルナイト」において、災害時の食事および備蓄品の利用についてパネルと試作品の展示、備蓄品を利用した焼き菓子の提案・提供を行った。(2023年3月11日)
	葛尾村地域復興支援	葛尾村「あぜりあ市」および「葛尾村盆踊り」、「かつらお感謝祭」の運営に協力した。葛尾村の特産品である凍みもちを利用した商品について、来場者に試食していただいた。(あぜりあ市2022年6月5日・11月6日、盆踊り2022年8月14日、感謝祭2022年11月3日)
	大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業	郡山女子大学として採択され、事業名『葛尾村における地域特産品開発と食農教育』として、村内でエゴマ、オヤマボクチ、コシアブラ、タラノキの栽培や商品開発等の活動を行った。(2022年6月25日)
	「第1回ふくしま・ふたば合同夏祭り」への参加	「第1回ふくしま・ふたば合同夏祭り」に出展し、屋上菜園の収穫物を使った商品の販売を行った。(2022年8月16日)
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部協力のもと本学で開催した中高生を対象とした料理教室において運営を務めた。(2022年11月19日)
磯 部 哲 夫	会津演奏家連盟	副代表 各種コンサート、音楽鑑賞教室の企画、運営。
	全日本音楽教育研究会	会員 音楽教育についての研究発表
	福島県声楽協会	会員 歌唱領域についての研究発表
	高声会	会員 歌唱領域についての研究発表
	郡山女声合唱団	ヴォイストレーナー 合唱団のヴォイストレーニング、合唱指導
一 柳 智 子	民族芸術学会理事	第172、173回民族芸術学会オンライン理事会に出席した。
	比較舞踊学会理事	第1、2、3回比較舞踊学会オンライン理事会に出席した。 第7、8回比較舞踊学会理事会はメール審議となった。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	白河市文化財保護審議会委員	(諮問) 第1回審議会 オンライン 第2回審議会答申 令和5年2月21日
横 溝 聡 子	郡山市立公民館運営審議会	委員長 委員会運営及び郡山市立公民館運営の諮問事項に関する協議を行った。
	郡山市青少年健全育成推進協議会	委員
	第31回東北青少年音楽コンクール宮城県南地区大会	審査員 令和4年6月5日(日) 会場：蔵王町ふるさと文化会館(ございんホール) 宮城県南地区大会において審査員を務めた。
	第31回東北青少年音楽コンクール本選会	審査員 令和4年8月1日(月) 会場：広瀬文化会館 本選会において審査員を務めた。
	第31回東北青少年音楽コンクール全東北リトルピアニストコース本選会	審査委員長 令和4年8月2日(火) 会場：広瀬文化会館 リトルピアニストコース本選会において審査委員長を務めた。
早 川 仁	・ 県南美術協会	・ 4月～9月事務局総務担当として定期的に、会員・会友作品展運営。 県南美術展開催の計画、準備打ち合わせ。 8/2 県南美術展 役員会(郡山市民プラザ7階会議室) 9/13～19 県南美術展開催運営
	・ 現代童画会	・ 11/13(日) 現代童画展開催期間中の運営補助(東京都美術館)
	・ 本宮市民元気いきいき応援プラザ(地域貢献活動支援事業)	・ 子育て支援事業「いっしょに遊ぼう」通称「えぽか」の計画・学生指導。 今年度はコロナ禍によりVTRによる発表とした。
	・ 放送大学講師	・ 11/19(土)、11/20(日) 「構図で語るストーリーのある絵画」担当。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	・ 郡山市地方社会福祉審議会	・ 11/24（木） 主に市内保育支援に関する質の向上、施設認可関連の審議。 市内２園の無認可保育園から認可保育園への承認・他について審議。
	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会	・ 福島県私立幼稚園・認定こども園教諭就職セミナー本学開催についての協議打ち合わせ～実施。今年度はコロナ禍によりZOOM配信で実施した。
山 上 裕 子	郡山市 子ども・子育て会議 委員	委員として会議に参加した。
草 野 葉 子	アカデミア・コンソーシアムふくしま 事業推進委員	福島県内の大学・短大等26機関による「大学間連携共同教育推進事業」に関する審議。
折 笠 国 康	公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会主催	講演会講師 令和４年度キャリアアップ研修マネジメント部門 養成校から見た学生・新任教員指導
	日本教育カウンセリング学会主催	学会企画シンポジウムコーディネーター 第19回日本教育カウンセリング学会シンポジウム 復興と創成を目指す令和時代の教育支援
	日本教育カウンセリング学会主催	個人発表・座長 第19回日本教育カウンセリング学会
	道光保育所主催	講演会講師 子どもと保育者が育つ職場環境2
永 瀬 悦 子	福島県私立幼稚園・認定子ども園連合会	令和４年度教員研修会の講師を務めた 令和４年７月27日実施※オンラインにて実施 テーマ「子どもの健康と安全を守るために大切なこと：よく耳にする『子どもの感染症』を中心に」



氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県私立幼稚園・認定子ども園連合会	令和4年度教員研修会の講師を務めた 令和4年7月29日実施 ※オンラインにて実施 テーマ「保育者に気をつけてほしい乳幼児期の病気やケガ」
	福島県子育て支援課	令和4年度福島県保育士等キャリアアップ研修会 専門分野別研修「保健衛生・安全対策」の講師を務めた 令和4年12月5日実施 会場：郡山市労働福祉会館
	福島県子育て支援課	令和4年度福島県保育士等キャリアアップ研修会 専門分野別研修「乳児保育」の講師を務めた 令和5年1月10日・17日実施 ※オンラインにて実施
	矢吹町教育委員会	矢吹町子ども・子育て会議の委員を務めた（学識経験者）
柴 田 卓	・ 日本自然保育学会	理事
	・ 子ども里山教育活動推進検討会（福島県）	会長 福島県子ども里山教育・自然保育支援について検討を行った。
	・ 小野町 自然を活かした保育活動	講師 「わくわくどきどきたんけんたい」の指導および評価（年6回）
	・ 三春町 自然を活かした保育活動	講師 「三春町ちびっこたんけんたい」の指導および評価（年8回）
	・ 福島県「子どもと青年の異世代交流事業」および「自然あそび事業」	講師 県内の保育者養成校の学生に対し、自然遊びのワークショップ等を行い、親子自然あそびイベントの企画と運営をサポートした。
	・ 葛尾村 自然を活かした保育活動	講師 葛尾村立葛尾幼稚園の園児を対象に年2回の自然遊びを実施した。
	・ 福島県森林ボランティアサポートセンター「森林ボランティア育成研修会」	講師 幼児を対象とした森林環境教育に関するテーマで研修を実施した。
	・ 公社福島県私立幼稚園・認定こども園連合会「主任教員研修会/キャリアアップ研修会」	講師 主任教員を対象として、「北欧諸国のカリキュラムと事例から保育環境を考える」というテーマで研修を実施した。
	・ 郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会 幼児教育センター「第1回全体研修会」	講師 「自然保育や戸外活動の意義を改めて考える」というテーマで講演を行った。



氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
宇 治 和 子	奈良女子大学大学院  小野町地域創生総合戦略推進会議委員	非常勤講師。公認心理師養成科目「福祉分野に関する理論と支援の展開」を担当した。  「小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる34事業と、「小野町過疎地域持続的発展計画」により取り組んだ事業の報告を聞き、意見を述べた。
	郡山市立幼稚園・認定こども園連合会園長主任研修会 講師	令和5年1月18日（水）オンライン研修 講演「子どもと保育者、暴力をめぐる問題」
ポール・バーナム Paul Vonnahme	国際交流特別講座  Japan Association for Language Teaching (JALT)  日本タッチ&フラッグフットボール協会 (JTFA)	English Lecturer: This is an adult education English class with two levels of students. Each class is 90 minutes with 15 total meetings for 22.5 hours in each full session. Students may prepare English topics or interact with teacher based topics. Conversation is the focus while allowing students to speak with other class members and a native speaker.  JALT Member: JALT takes pride in its international composition and in the worldwide forum it provides to exchange ideas and techniques in language education.  Coaching & Leadership: This a sport that allows for games to be played with former college students. One of the most popular events of the year is played in Yokohama Bay Star Stadium. This is a national event with players throughout Japan participating in and beyond their college years.
安 部 高 太 朗	三春町幼児教育アドバイザー派遣事業連絡会議 講師	令和5年1月10日（火） 会場：三春町役場 3階会議室 「認定こども園に向けたカリキュラム編成について」話題提供した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
深 谷 悠里絵	開南幼稚園 評議員会	評議員 2022年6月1日 場所：開南幼稚園 昨年度の活動内容と予算について報告を受け、今年度の予算について審議を行った。
何 燕 生 (福島寅太郎)	武漢大学文明対話高等研究院『文明対話論叢』 編集委員	論文の査読、編集と企画
	北京大学『北大仏学』編集委員	論文の査読、編集と企画
	日本宗教学会 学会誌『宗教研究』編集委員	論文の査読、編集と企画
	香港中文大学『人間仏教研究』編集委員	論文の査読、編集と企画
	Journal of Buddhist Philosophy (SUNY Press) Editorial Board	論文の査読、編集と企画
	中山大学『漢語仏学評論』編集委員	論文の査読、編集と企画
	印度学宗教学会 学会誌『論集』編集委員	論文の査読、編集と企画
	印度学宗教学会 常任理事	学会の運営
	日本宗教学会評議員	学会の運営
	文部科学省共同研究拠点京都大学人文科学研究所共 同研究課題責任者	「禅の言葉と翻訳」研究班（略称「禅研究班」）の企画、運営
浅 野 章	福島県美術家連盟	会員 福島県的美術普及活動
	福島県南美術家連盟	評議員 福島県南地区の美術普及活動
	国画会	絵画部会員 作品審査・運営業務

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	自然保護・社会奉仕のためのチャリティー	出品協力 東京六本木国立新美術館に於いて第96回・国展絵画部でのチャリティー展に出品。小品を展示販売し、売上金全額を慈善団体に寄付した。
	KFB放送番組審議会	KFB福島放送番組審議会委員業務
	福島民報特別通信員	特別通信員（ふるさと記者） 美術関係の話題を中心として福島民報新聞社に情報を提供する。
	福島県総合美術展	招待作家
	郡山市総合美術展	招待作家・作品審査業務
	MOA美術館郡山児童作品展	郡山市内の小学生を対象としたコンクール出品作の審査および講評。
齊 藤 弘 久	福島県水彩画会	監事・版画部会員 運營業務、審査
	埼玉県版画家協会	理事・会員
桑 野 聡	郡山市市史編纂推進委員会	9月より郡山市史の続編5（2012～2021）作成のために「教育・文化ワークショップ」の委員として編別構成の決定、執筆者の選定・依頼などを検討する。
會 田 容 弘	和台遺跡保存活用計画策定委員会副委員長	国指定史跡和台遺跡の保存管理・活用・整備に関し、専門的な指導・助言を行う。令和4年度は4回の委員会が実施された。
知 野 愛	福島県教育庁県中教育事務所 地域家庭教育推進県中ブロック会議	県中ブロック会議アドバイザー・第1、2回の地域家庭教育推進県中ブロック会議で議長を務め、県中域内家庭教育支援者研修会に出席。
	公益財団法人郡山市観光交流振興公社評議員会	評議員・郡山市観光交流振興公社の事業運営等を話合う評議員会。書面審議により回答書を提出。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議	会員・こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議議題について回答書を提出。
	郡山市男女共同参画審議会	委員・第三次こおりやま男女共同参画プラン推進施策実施状況及び実施計画について書面審議により回答書を提出。
小 松 太 志	基礎造形学会 選挙管理委員会	委員 学会の役員改選にかかわる選挙業務を担当した。
	第1回ふくしま・ふたば合同夏祭り実行委員会	委員 第1回ふくしま・ふたば合同夏祭りの開催にかかわり、主に運営に関わる学内の取りまとめを担当した。
	いっしょに考える『福島、その先の環境へ。』 チャレンジ・アワード 審査委員会	委員 環境省による福島県の環境に関する取組の提案、復興へのアイデア、活動などをまとめた作品を募集するコンテストの審査を担当した。
	3.11 ふくしま追悼復興祈念行事 「キャンドルナイト」実施業務委託に係る審査委員会	委員 福島県 県中地方振興局によるふくしま追悼復興祈念行事「キャンドルナイト」実施業務委託に係る審査を担当した。
	棚倉町ブランド認証審査委員会	委員 棚倉町におけるブランド品の審査・認証を担当した。
	復興の灯火プロジェクト	事務局 東日本大震災の記憶と地域文化の継承を目的としたプロジェクトの企画・運営を担当した。
松 田 理 香	郡山警察署協議会	委員 警察施設等の視察と警察署長の諮問事項について協議した。
山 口 猛	福島県教育委員会 福島県生徒指導アドバイザー	情報モラルの観点から、講演や研修会等への支援を行った。 会議2回出席、講演等5回実施
	福島県教育委員会 次世代のためのメディアリテラシー育成事業 講師	ICT教育の観点から、講演や研修会等への支援を行なった。 会議2回出席、講演等4回実施
仲 田 佐和子	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社	理事 市民文化の振興、文化財の調査研究及び労働福祉の増進を行う公益法人において、文化財関連の理事として理事会において予算等を審議した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
黒 沼 令	福島県美術家連盟評議委員 福島県総合美術展覧会運営委員 岩手県高等学校文化連盟 郡山市総合美術展審査員 アートによる新生ふくしま交流事業 アートで広げるみんなの元気プロジェクト講師	福島県美術家連盟の運営業務を行った。 第76回福島県総合美術展の運営委員として展覧会の運営業務を担当した。 楯（連盟賞、テーマ賞、ポスター賞）、トロフィ（功労賞、連盟賞）の原型制作を行った。 第66回郡山市総合美術展、彫刻・工芸部門の審査を行った。 福島県主催の事業。復興公営住宅4会場で、彫刻技法を活用したワークショップの講師を担当した。
佐 藤 愛 未	福島県文化振興事業団評議委員会 郡山市史編さん推進委員会	評議委員を務めた。 『郡山市史』全編改訂ワークショップ委員を務めた。
和 知 剛	郡山市図書館協議会	図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる。
佐々木 達 矢	令和4年度福島県安全で安心な県づくり促進事業 創価大学テニユア業績評価委員会 Chaos, Solitons and Fractals: the interdisciplinary journal of Nonlinear Science, and Nonequilibrium and Complex Phenomena, Dynamic Games and Applications Journal of Theoretical Biology, Physical Review E, Scientific Reports	三春町内の町内会において、福島県及び三春町と協力して地区防災計画策定に向けた支援業務に参加した。 テニユアトラック教員に対するテニユア審査の学外委員を務めた。 左記の国際ジャーナル（5誌）に投稿された原著論文の査読者を務めた。
米 本 順 子	アートでつなごう福島展 3.11をこえて 実行委員会地区サポーター 復興の灯火プロジェクト	3.11福島展実行委員会主催の展示会。地区サポーターとして運営の支援を行った。 事務局 東日本大震災の記憶と地域文化の継承を目的としたプロジェクトの運営を担当した。